

6mAM

ロールコールグループ

【2008 ハムフェア】



6m用マグネチックループアンテナ 製作：JH1MRL さいたま市在住

目 次

(1) 6mAM ロールコールグループについて	3 ページ
(2) 各地のロールコールの紹介	4 ページ
(3) 1 エリア 6mAM ロールコール	5 ページ
(4) 2 エリア 6mAM ロールコール	8 ページ
(5) 南大阪 A3 ロールコール	11 ページ
(6) 9 エリア 6mAM ロールコール	14 ページ
(7) 新潟 6mAM ロールコール	15 ページ
(8) 真空管による 6mAM トランシーバーの製作	17 ページ
(9) 『DDS 式 TX - 88A / D 用 VFO の製作』	21 ページ
(10) AM 送信機の製作	24 ページ
(11) 50Ω : 800Ω バランの製作	31 ページ
(12) 50MHz AM 関係の組立キットのご紹介	38 ページ
(13) 第 19 回 2 エリア主催 AM コンテストの結果	39 ページ
(14) 第 20 回 2 エリア主催 AM コンテストのお知らせ	40 ページ
(15) 6 m AM マラソンコンテストのお知らせ	41 ページ
(16) 全国 6mAM ロールコールのお知らせ	42 ページ
(17) 運営資金の寄付のお礼とお願い	42 ページ
(18) 6m ロールコールグループキー局募集	43 ページ
(19) ハムフェアのパンフレット原稿募集	44 ページ
(20) 編集後記	44 ページ

6 m AM ロールコールグループ

公式サイト <http://www.6mam.com/>

50MHz AM について

かつて、アマチュア無線の入門バンドといえば、50MHz（6m バンド）でした。（地域や年代によって違うかもしれません。）

50MHz の楽しみ方は何でしょうか。人それぞれあるかと思いますが、「伝搬が楽しめる。」「リグの自作がしやすい。」「ベテランから新人まで層が厚く広い。」というのが挙げられると思います。

VHF に分類されていますが、VHF と HF の両方の性質を併せ持っているのが 50MHz です。普段は見通し距離の伝搬が主ですが、これからの季節は、スプラディック E 層（E スポ）で

思わぬ遠距離との交信が楽しめます。

流星反射や、最近では EME（！）をしている人もいます。（AM ではないようです。）自作という点では、特に難しいノウハウを必要とせず、初心者でも実用に耐えるリグを作ることできます。自慢の自作のリグでオンエアしている人も多くいます。

SSB や FM のリグは、「簡単に作る」というのは難しいと思いますが、CW や AM は比較的楽だと思えます。

運用している人は、JA の 2 文字コールの大先輩から、最近始めたばかりの人まで楽しんでいます。小中学生の声は聞かれなくなってしばらく経ちますが、そういう人達も受け入れられる懐の深さも持っています。

さて、50MHz AM の楽しみ方です。

上に挙げた 3 つの楽しみが全て含まれている、というのは褒めすぎでしょうか。

特別「これだから！」というものはありません。ただ、この素敵な楽しみ方を多くの人に知って欲しいと想っています。

私たちは「クラブ」「会員制」「地域制」は採っていません。50MHz の AM が好きで、オンエアできる人たちが集まっています。

定期的（週 1 回～月 1 回）に「ロールコール」という形式で交信しあって、情報交換をしたり、交流したりして楽しんでいます。

皆さんもぜひ一度、肩肘張らずに気軽に「ロールコール」に参加してみませんか？
どのロールコールでもチェックインは大歓迎です。

（文責：JP1EVD 吉原）

【各地のロールコールの紹介】

運用周波数はめやすです。聞こえなくても、付近をさがしてみてください
時刻は開始時刻ですが、定時送信ではありません。急遽お休みもあることを了承ください。
インフォメーション、ロールコールのキー局も募集中です。
ご質問などは jp1evd@jarl.com までお気軽にお問い合わせ下さい。

【各エリア】

関東 1 エリア 6 m AM ロールコール

毎週日曜日 21:30 ~ 50.55MHz

主なキー局：JA1EEZ JK1ONN JP1EVD 7K3OMS JI3NPS/1 JH7OZQ/1 他

東海 2 エリア 6mAM ロールコール

毎週土曜日 21 時 ~ 50.60MHz

主なキー局：JA2AZZ JR2JKL JF2HEV JF2QKA JF2UJG JL2VXR 他

関西 南大阪 A 3 ロールコール

毎週金曜日 21 時 ~ 50.55MHz

主なネット局：JA3XQO 他

北陸 (9 エリア) 6mAM ロールコール

毎月第2土曜日 21 時 ~ 50.55MHz

主なキー局：JA9SWR 他

信越 新潟 6mAM ロールコール

毎月第3土曜日 21 時 ~ 50.62MHz

主なキー局：JGOGJG 他

【全国】

全国 (富士山) ロールコール

毎年1回の予定 50.60MHz

キー局：参加者募集中

※ 夏休みスペシャル 6mAM ロールコールと、大晦日 (全国) 6mAM ロールコールは、
現在休止中です。

1 エリア 6 m A M ロールコール

1 エリア 6 m A M ロールコールは、下記の日時・周波数で毎週行われています。どなたでもお気軽にチェックインいただけます。日曜日の夜のひととき、是非一度ワッチしてみてください。

日 時 毎週日曜日 21 時 30 分から 22 時 30 分頃まで (終了時間は多少前後します)
周波数 50.550 MHz 付近 モード A 3 か A 3 H
キー局 (昨年 8 月以降、一度でもキー局を行った局)

J A 1 E E Z	田中	東京都豊島区	27 m 高	スパイラルレイ×2
J K 1 O N N	高田	東京都武蔵野市	10 m 高	2 エレ H B 9 C V
J P 1 E V D	吉原	横浜市港北区	22 m 高	6 エレ八木
J I 3 N P S	近藤	川崎市多摩区	14 m 高	6 エレ八木
J H 7 O Z Q	荒井	千葉県鎌ヶ谷市	20 m 高	6 エレ 2 段スタック
7 K 3 O M S	青木	神奈川県伊勢原市	20 m 高	6 エレ八木

毎週キー局が変わり、チェックインいただく方にはご迷惑をおかけしますが、これも永くロールコールを行うためにキー局の負担を減らす工夫ですので、ご理解、ご協力をお願いいたします。なお、キー局の担当予定は、ロールコールのインフォメーション、1 エリア 6 m A M ロールコールメーリングリスト等で発表されますが、都合により予告無く変更することがあります。

1 エリア 6 m A M ロールコールでは、キー局を募集しています。臨時や 1 回限りでも構いませんし、ローテーションに加わっていただければなお有り難く存じます。身近なキー局までお知らせください。

1 エリア A M ロールコールメーリングリスト (1AMRC) について

1 エリア A M ロールコールでは、メーリングリストを開設しています。ロールコールのキー局の連絡、チェックイン局リスト、インフォメーション等に利用しております。どなたでもお気軽にご参加いただけます。次のいずれかの方法でご参加できます。

- 1 J K 1 O N N (jk1onn@jarl.com) に参加希望のメールを送る。
- 2 1amrc-subscribe@yahoogroups.jp に空のメールを送る。
- 3 ホームページ <http://www.egroups.co.jp/group/1amrc/> を参照する。

また、スパムメール防止のため、参加者以外の投稿は受け付けておりません。ご了承ください。

DE J K 1 O N N 武蔵野市 高田

1 エリア 6 m A M ロールコール参加者一覧

2007年8月5日～2008年7月27日(52回分)のチェックイン局及び回数5回以上チェックインされている局の主な運用地を載せています。

コールサイン	回数	所在地	コールサイン	回数	所在地	コールサイン	回数	所在地
JA1AI	1		JH1LRL	27	八王子市	JQ1WPD	1	
JA1KK	46	杉並区	JH1MIG	9	さいたま市桜区	JR1EMM	23	目黒区
JA1AGJ	1		JH1PCJ	18	横浜市緑区	JR1KJU	1	
JA1AJX	21	川口市	JH1XUP	2		JR1KQU	1	
JA1AMG	31	野田市	JI1DMC	3		JR1OBC	30	目黒区
JA1BAC	14	松戸市	JI1KZN	2		JR1OQA	1	
JA1BBR	1		JI1RVX	6	戸田市	JR1UJX	3	
JA1BSN	1		JI1SAI	4		JS1FDO	1	
JA1CCX	3		JI1TCV	1		JS1IVS	2	
JA1CGC	2		JI1TLL	1		JS1NHA	4	
JA1DAC	1		JI1UTI	1		7K1PTO	3	
JA1DDD	1		JI1WCP	4		7K1TPT	1	
JA1EEZ	49	豊島区	JJ1EIO	3		7M1KHG	31	八王子市
JA1EPF	1		JJ1ERR	4		7M1KNG	5	横浜市緑区
JA1EVL	1		JJ1FZN	1		7M1KWG	2	
JA1FBY	7		JJ1IYE	1		7M1XPR	7	君津市
JA1FEI	36	川崎市宮前区	JJ1MQW	1		7N1XMD	24	小平市
JA1FUB	11	立川市	JK1AVR	1		JE2QJJ	1	
JA1FWJ	28	西東京市	JK1BMK	8	茅ヶ崎市	JF2EHU	12	静岡県駿東郡
JA1GDR	18	八王子市	JK1MIG	3		JF2UJG	1	
JA1GTN	1		JK1NZM	4		JH2COZ	1	
JA1HAO	9	目黒区	JK1ONN	13	武蔵野市	JH2QBV	1	
JA1QOJ	1		JK1PQI	1		JR2FVO	10	調布市
JA1RAC	1		JK1SZX	4		7L2ATG	2	
JA1VZV	24	相模原市	JK1XBR	12	八王子市	7L2BRM	1	
JA1WOB	1		JK1XIV	1		7M2WNR	6	府中市
JA1WVB	1		JK1XSC	1		7N2DNM	1	
JE1BPO	9	海老名市	JL1HNR	2		7N2TNI	14	小金井市
JE1GLR	7	結城市	JL1KPM	4		7N2TRM	1	
JE1ICU	17	前橋市	JL1KRA	5	横浜市神奈川区	JF3MOK	3	
JE1IJI	2		JL1NDH	13	八王子市	JI3KHN	1	
JE1LCK	34	所沢市	JL1STZ	16	杉並区	JI3NPS	12	川崎市多摩区
JE1MPR	4		JL1THB	3		7K3OMS	14	伊勢原市
JE1QKC	40	川崎市高津区	JL1XVZ	1		7K3PCI	8	八王子市
JF1AIF	3		JM1FYV	1		JH4EYI	11	町田市
JF1EER	1		JM1MOM	4		JJ4OWU	1	
JF1ILY	1		JM1NDO	1		7K4TPT	5	足立区
JF1JDG	13	横浜市港北区	JM1OPG	25	武蔵村山市	7L4XDT	1	
JF1LET	2		JM1PJW	16	青梅市	7M4OAO	1	
JF1LXO	3		JM1WBB	23	世田谷区	7N4DNM	2	
JF1MZA	16	調布市	JM1WOB	1		7N4WCP	1	
JF1NEG	20	横浜市金沢区	JM1XPO	1		JA6HQQ	1	
JF1RYU	1		JN1GIH	11	横浜市旭区	JH6UVN	2	
JF1WUV	2		JN1IDY	1		JN6VSN	4	
JF1XBQ	2		JN1JVA	8	府中市	JA7NT	1	
JG1EMQ	18	国分寺市	JN1NDO	1		JH7DEZ	1	
JG1GCO	7	川口市	JN1SZF	1		JH7OZQ	22	千葉県鎌ヶ谷市
JG1HVS	4		JN1UJY	16	横浜市港南区	JK7OSL	3	
JG1KBY	1		JN1VJY	3		JK7TKE	1	
JG1OHM	1		JO1ACW	1		JL7XBN	9	八王子市
JH1CWF	6	川越市	JO1QWX	13	横浜市神奈川区	JR7BEM	1	
JH1CWJ	2		JP1DRM	4		JA8CCC	1	
JH1DWY	1		JP1EVD	37	横浜市港北区	JH8PHT	5	横浜市神奈川区
JH1DXJ	31	立川市	JP1HNW	1		JR8DAG	1	
JH1EGJ	6	立川市	JP1IHL	1		JH9UJB	1	
JH1HYC	1		JP1QGO	4				

2007年8月1日～2008年7月30日(52回)

キー局運用場所及びチェックイン局数

日付	局数	キー局	日付	局数	キー局	日付	局数	キー局
8月5日	17	JP1EVD	12月9日	22	7K3OMS	4月6日	38	JA1EEZ
8月12日	27	JA1EEZ	12月16日	18	JK1ONN	4月13日	23	JP1EVD
8月19日	15	JK1ONN	12月23日	36	JA1EEZ	4月20日	15	7K3OMS
8月26日	19	7K3OMS	12月30日	13	JP1EVD	4月27日	22	JK1ONN
9月2日	26	JJ3NPS	1月6日	30	JP1EVD	5月4日	21	JP1EVD
9月9日	21	JP1EVD	1月13日	20	7K3OMS	5月11日	16	7K3OMS
9月16日	28	JK1ONN	1月20日	33	JA1EEZ	5月18日	18	JK1ONN
9月23日	52	JH7OZQ	1月27日	39	JA1EEZ	5月25日	32	JA1EEZ
9月30日	17	7K3OMS	2月3日	24	JP1EVD	6月1日	19	JP1EVD
10月7日	23	JK1ONN	2月10日	27	JK1ONN	6月8日	20	7K3OMS
10月14日	13	JP1EVD	2月17日	19	7K3OMS	6月15日	19	JK1ONN
10月21日	19	7K3OMS	2月24日	19	JP1EVD	6月22日	30	JH7OZQ
10月28日	31	JJ3NPS	3月2日	26	JA1EEZ	6月29日	15	7K3OMS
11月4日	22	JP1EVD	3月9日	23	JP1EVD	7月6日	11	JP1EVD
11月11日	23	7K3OMS	3月16日	23	JK1ONN	7月13日	17	7K3OMS
11月18日	27	JK1ONN	3月23日	22	7K3OMS	7月20日	29	JA1EEZ
11月25日	45	JA1EEZ	3月30日	9	7K3OMS	7月27日	17	JK1ONN
12月2日	35	JJ3NPS						



キー局のアンテナ(JA1EEZ) 11エレメント スパイラルレイ×2

2 エリア 6 m A M ロールコール

2 エリアでは、毎週土曜日の夜、ロケーションの良い場所から、A M のロールコールを行っています。カバー範囲は、ほぼ東海3県です。

今となっては、世にも不思議なA M モードです。40年以上も昔の無線機と最新無線機とがQ S O できるモードでもあり、また自作したトランシーバーやキットを組み上げたトランシーバーなど、その他古い無線機を修理したりした物のテストの場になればと思っています。

参加局としては、毎週、40～50局あります。(詳細は、下記に)

直接的なロールコール以外の活動として、関ハムへの参加、ハムフェアへの参加、また、秋のグラウンドミーティング等があります。これらは、一緒に活動していただける局を募集しています。興味のある局は、ご連絡ください。

このロールコールはロケーションのよいところから行っていますし、運用場所も事前にほぼ公開されています。興味のある局は、いつでも見学o k です。普段、参加局の電波がどのようにキー局側に届いているか、また、A M モードがいかに無線機によって音質が違うかを体験することができます。そして、チャンスがあれば、臨時キー局をやっていただいてもo k です。キー局の予定は、<http://www.6mam.com> に載っていますので、こちらで確認ください。

今後も、2 エリアA M ロールコールとしては、いろいろなクラブ、グループ、個人と協力し、より楽しめるロールコール活動を行うと同時に、技術的な部分で、アマチュア無線を楽しんでいきたいと思えます。(文責：JF2UJG 太田)

日時 毎週土曜日 21時から22時30分程度まで

キー局 第1・3週(尾張) J A 2 A Z Z, J F 2 Q K A, J Q 2 K J X

第2・4週(三河) J F 2 U J G, J F 2 H E V

第5週 尾張・三河合同運用

主な運用場所、設備

J A 2 A Z Z / 2 愛知県小牧市白山峠 I C 7 5 6 4 m H シングルグループ

J F 2 Q K A / 2 岐阜県土岐市三国山 I C 7 0 6 5 m H D P

J F 2 U J G / 2 愛知県豊田市炮烙山 I C 7 0 6 3 m H ヘンテナ

2 エリアA M ロールコールは、年に何度か、親睦を深めるという意味で合同運用と称するフィールドミーティングを行っています。これに参加すると、普段、皆さんの電波がどのようにキー局側で聞こえているかを体験できますし、どのような局がキー局をやっているかが分かります。合同運用がいつ・どこで行うかはロールコールの中でアナウンスしますので、興味のある局は参加ください。このロールコールはクラブ制、会員制と取っていません。参加に関して制限等はありません。ただ、例外として、JARL のイベント等で、JARL 登録クラブでない活動できない場合がありますので、そのために、6mAM 愛好会があります。こちらもクラブ員を募集していますので、興味のある方はキー局まで連絡ください。

「参考」ロールコールの結果・情報は <http://6mam.com> に掲載しています。

2008年の参加局数

局数の前はキー局（複数は合同運用）です。

A-JA2AZZ	J-JR2JKL	U-JF2UJG
H-JF2HEV	V-JL2VXR	Q-JF2QKA
F-JG2VSF	N-JQ2SJN	T-JQ2SAT
B-JH3BDB	K-JQ2KJX	P-JF2PEO
C-JI2CPF	R-JQ2RVN	I-JH2INQ
th-JE2THU	Z-JE3KMZ	

	第1週	第2週	第3週	第4週	第5週
1月	U 61	AQ 54	U 63	QK 53	
2月	AQ 54	U 49	QK 24	U 54	
3月	U 60	AQ 49	U 70	QK 59	JAIQU35
4月	AKQ51	U 69	QK 68	U 63	
5月	AQ 46	U 59	QK 55	U 51	
6月	AKQ55	UIBZ59	QK 49	U 54	AIt hUFPQ46
7月	U 54	AKQ45	QK 52	U 48	

参加局数 平均 53.6局 (2008年7月末現在)



2エリア 6m AM ロールコール合同運用時のスナップ

2 エリア 6 m A M ロールコール参加局リスト (2008年～)

C A L L	Q T H	N A M E	C A L L	Q T H	N A M E	C A L L	Q T H	N A M E
JA2AQ	春日井市	高橋	JE2OJT	南区	高嶽	JP2KLP	北区	岡島
JA2FO	知多市	黒田	JE2PZN	知多郡	あべ	JP2KUB	知多市	角田
JA2YL	港区	伏見	JE2RUF	各務原市	横山	JP2LOA	稲沢市	原島
JA2AEP	半田市	加藤	JE2THU	江南市	大河内	JP2NJC	弥富市	荒尾
JA2AOC	豊橋市	鷗目	JE2VBZ	瀬戸市	藤吉	JP2OMU	刈谷市	酒井
JA2APH	犬山市	鈴木	JE2VMB	北区	鈴木	JP2QCX	南区	原田
JA2AZZ	北名古屋市	杉山	JF2AIJ	東海市	伊藤	JP2QFB	額田郡	杉浦
JA2BNV	北名古屋市	山形	JF2AZM	美濃加茂市	今井	JP2UFW/2	土岐市	高木
JA2BQD	碧南市	小笠原	JF2BCL	豊明市	前田	JP2UNS	郡上市	竹村
JA2CFQ	碧南市	角谷	JF2DES	蒲郡市	廣瀬	JQ2GIW	中川区	石川
JA2CWW	名東区	加藤	JF2HEV	安城市	榊原	JQ2JYW	西区	上田
JA2DVK	豊田市	梁瀬	JF2HGB	新城市	犬塚	JQ2KJX/2	小牧市	大橋
JA2EOJ	知多市	磯貝	JF2IIU	中区	城田	JQ2NVN	羽島市	井上
JA2FAS	尾張旭市	若杉	JF2IMU	中川区	尾崎	JQ2OUL	桑名市	郡
JA2FWL	大垣市	志知	JF2LNC	多治見市	菅谷	JQ2QLK	幡豆郡	犬塚
JA2HPK	一宮市	前島	JF2NMY	岡崎市	高木	JQ2SAT	日進市	矢嶋
JA2IAM	大府市	野竹	JF2OWI	小牧市	国定	JQ2SJN	新城市	真木
JA2IDZ	守山区	小原	JF2PEO	一宮市	森川	JQ2SOY/2	四日市市	鈴木
JA2JWH	名東区	山本	JF2QHL	千種区	中野	JQ2UAO	三重郡	河野
JA2KOG	桑名市	小坂	JF2QKA/2	春日井市	大橋	JQ2UNS	豊川市	鈴木
JA2KUR	西尾市	松井	JF2SDR	一宮市	富田	JQ2VBC	岡崎市	高木
JA2MWB	愛知郡	時田	JF2TAR	浜松市	伊藤	JQ2VLP	岡崎市	高木
JA2NEN	伊賀市	池沢	JF2TWY	稲沢市	畝山	JQ2WDN	豊田市	大平
JA2NUO	豊田市	酒井	JF2UJG/2	豊田市	太田	JQ2WUK	豊田市	野本
JA2SYJ	守山区	水野	JF2VNV	可児市	佐藤	JS2KWM	小牧市	岩屋
JA2TBZ/2	知多郡	?	JF2WYC	岐阜市	恩田	JS2PHO	豊川市	川名
JH2BAX	掛川市	鷺山	JG2AQW	一宮市	野田	JA1APE/2	刈谷市	河本
JH2INQ/2	豊田市	伊藤	JG2DXU	小牧市	佐藤	JA1VZV	相模原市	水上
JH2IRW	瀬戸市	田中	JG2VSF	名東区	大鐘	JE1MGP/2	西尾市	杏名
JH2IZF	知多郡	石井	JG2XHB	岐阜市	山田	JF1HIO/2	名東区	佐藤
JH2KBS	知立市	田中	JJ2CPF	知多郡	原田	JG1FSE/2	揖斐郡	森
JH2ODD	天白区	西永	JJ2GVL	可児市	鳥居	JA3FWI/2	各務原市	吉成
JH2QBV	岡崎市	後藤	JJ2LZQ	中津川市	梅村	JA3IXO	吉野郡	中村
JH2QYB	可児市	小谷	JJ2WAH	山県市	田中	JH3BDB/2	土岐市	入江
JH2SEP	千種区	成田	JJ2WLX	日進市	中野	JH3JLU	洲本市	漆山
JH2XEM/2	海部郡	米沢	JJ2MMK	各務原市	谷川	JR3GOX/3	生駒市	児玉
JR2BAR	千種区	山本	JJ2OUS/2	豊橋市	加藤	JE3KMZ/2	土岐市	竹生
JR2BQH	羽島郡	市原	JJ2PEI/2	半田市	近藤	JE3TJS	神・東灘区	河村
JR2CGA	豊田市	遠山	JJ2PUE	養老郡	日比	JJ3BAP/2	名東区	松田
JR2GJK	清須市	高田	JK2AUC	一宮市	中村	JJ3BSB/3	大津市	山本
JR2JKL	小牧市	熊澤	JK2CND	安八郡	渡辺	JK3SMS/2	豊田市	中上
JR2MCR	額田郡	杉浦	JK2EBB	碧南市	石川	JK3YJH/2	土岐市	竹生
JR2MGG	各務原市	浅野	JK2HGB	蒲郡市	三浦	JO3DDD	草津市	田中
JR2RPB	豊橋市	佐野	JK2JJH	東海市	吉岡	JO3HYM/2	亀山市	右田
JR2RZR	西尾市	石川	JK2NWU	刈谷市	近藤	JA4KEH/3	近江八幡市	中村
JR2TZK	中川区	田口	JK2OSI/2	常滑市	三浦	JA6JQZ/2	各務原市	永吉
JR2URN/0	下伊那郡	加藤	JL2FAE	北区	岡田	JJ6TJL/2	豊田市	扇
JE2CBQ	幡豆郡	木村	JM2AZA	幡豆郡	伴	JA7JST/2	豊田市	田中
JE2FIG	西加茂郡	藤井	JM2CAN	豊田市	三浦	JR8DAG/8	石狩郡	菅野
JE2HOL	額田郡	小林	JN2ISV	津島市	寺坪	JA9SLD	氷見市	中川
JE2IMU	丹羽郡	齊藤	JN2QYN	恵那市	塚田	JA9VAR	氷見市	釜田
JE2JHS	中村区	紀藤	JO2APT	瑞浪市	大脇	JJONSU/2	不破郡	小野
JE2MIR/2	日進市	桜井	JO2SIF	多治見市	江口			

南大阪 A 3 ロールコールの現状報告 (-2008.7.31)

文責：J A 3 X Q O (竹中信雄) ja3xqo@jarl.com

〒 569-1123 大阪府高槻市芥川町 1-2-A-3002

1. 南大阪 A 3 ロールコールについて

- 曜日・時間 → 毎週金曜日 21時から
周波数 → 50.550MHz ± AM
ネット局 → J A 3 X Q O (大阪府高槻市) 他
時間割 → 20:50-21:00 インフォメーション集め
21:00-22:40 チェックイン受付
22:40-23:00 インフォメーションをアナウンス
23:00-23:35 追加のチェックイン受付

1980年2月に南大阪 A 3 ロールコールがスタートしてから、アマチュア無線界はもちろん周辺の電子技術や情報通信の状況は大きく変わってきました。その時々々の社会状況に迎合して気軽にコンセプトを変更してしまうことなく、名称・周波数・モード・曜日・時間などを変更しないまま続いてきたロールコール、もし2009年2月6日に南大阪ロールコールが成立したら29周年となります。

ここまでネット局をつとめてこられたみなさんやロールコールにかかわってこられた多くの方、そしてチェックインされた数千局のみなさんの協働作業が、金曜日夜のロールコールという「3エリア名物」を支えています。このあといつまで今の形で続いていくか予測困難な要素もありますが、これかも南大阪 A 3 ロールコールをよろしく願います。

2. 2008 年前半は「二つの一万七千と一つの一万六千」達成

- (1) 21世紀になってからの南大阪 A 3 ロールコールのべ参加局数は、2008年4月4日に一万七千局を突破しました。 ※ 7/25 現在：17876 局
(2) 2002年6月にスタートした m1 の hamfes3am では、2008年4月9日にメッセージ数が一万七千件を突破しました。 ※ 7/31 現在：17879 件
(3) 21世紀になってから3エリア内よりの南大阪 A 3 ロールコールのべ参加局数は、2008年5月2日に一万六千局を突破しました。 ※ 7/25 現在：16553 局

3. 2007 ~ 2008 年の南大阪 A3RC 参加局一覧 2007.5.JAN ~ 2008.25.JUL.

21 世紀の NEW

JA3GW,JA3JY,JA3OY,#JA3TU,JA3BBG,JA3CFJ,#JA3CFL,JA3CIR,JA3CWC,#JA3EMG,JA3EVA,JA3FQO,JA3HAW,JA3HEU,JA3HHN,JA3HOI,JA3IWY,JA3IAS,JA3IXO,JA3JRE,#JA3LGF,JA3LOZ,#JA3LSG,#JA3MBC,JA3MJR,JA3OCJ,JA3ODB,JA3OSA,JA3PWS,JA3QBY,#JA3QFT,#JA3QMY,JA3QOS,JA3QUU,JA3RAY,JA3RHL,JA3TVQ,#JA3TZZ,JA3UVR,JA3UXP,JA3VXB,JA3WDL,JA3WPN,#JA3XKU,JA3XQO,JE3BRS,JE3CBQ,#JE3CON,JE3FKS,JE3HFU,JE3KMZ,JE3PCP,JE3RXY,JE3TJS,JE3VRJ,JE3WMW,JE3WVA,JE3XDK,JF3DVR,#JF3FOA,#JF3GDV,JF3JQX,JF3KUU,#JF3LFL,JF3LOP,#JF3MSU,JF3MUF,JF3MWQ,

JF3NAO,JF3PHM,#JF3RRA,#JF3TWA,#JF3UXC,JF3VAX,JG3AGJ,JG3CCD,JG3DOR,JG3EBB,JG3GNU,JG3GYO,
 JG3KFM,JG3ODI,JG3PMB,JG3RMM,JG3WEU,JH3BFD,JH3BZS,JH3CBN,JH3CFQ,JH3CHN,JH3DMQ,JH3DWV,
 #JH3EQP,JH3EQJ,JH3GNM,JH3HWL,JH3HYI,JH3JLU,JH3JYS,JH3LBT,#JH3VJV,JH3YHX,JI3BAP,#JI3BSB,
 JI3BXL,JI3DST,#JI3LRM,JI3MIF,JI3MWO,JI3RLY,JI3SBA,#JI3XTZ,JJ3BNT,#JJ3DYV,JJ3FEF,JJ3FKB,JJ3FKC,
 JJ3GCR,#JJ3GPJ,JJ3INC,JJ3MQX,JJ3OTJ,JJ3SES,#JJ3VGR,JJ3VLV,#JJ3WMC,JK3BPT,JK3CSY,JK3EGR,
 #JK3LXS,JK3NSD,JK3RXY,JK3SMS,#JK3SPC,JK3YJH,JL3AZA,JL3CEQ,JL3KTK,JL3LGF,JL3TKD,JL3TOG,
 #JL3TYN,#JL3YOL,#JM3APP,JM3EXL,#JM3HLU,#JM3RCF,JN3ACK,JN3IQW,#JN3JBY,JN3KWD,JN3LQP,
 JN3MUC,JN3NOW,#JN3NPP,#JN3OHW,JN3ONX,#JN3OUJ,#JN3VBP,JN3WVW,JN3WXZ,JO3AMB,JO3AWV,
 JO3DDD,JO3DIA,JO3EIO,JO3EVM,JO3FKS,#JO3GFU,#JO3GNE,JO3GQJ,JO3HRE,#JO3HYM,#JO3HZX,JO3IEE,
 JO3IEJ,JO3IGK,#JO3IVK,JO3JSD,#JO3JCU,#JO3KGV,JO3LHQ,JO3LIB,#JO3LIP,#JO3MFD,#JO3NLC,#JO3OJB,
 #JO3PHI,#JO3PSP,JP3CXK,#JP3EPM,#JP3UXK,JP3VWJ,#JP3WSJ,JQ3DRR,JQ3TOP,#JQ3VLZ,JR3ELR,
 #JR3GBW,JR3GOX,JR3JLB,#JR3KQF,JR3LKO,JR3QHJ,JR3RCW,#JR3REX,JR3TVH,JR3WTG,#JS3OMH,
 JS3UXO,7J3ABP,7J3AOZ,8J3P,#8N3KH,#8N3AMA,#8N3IAAF,#8J1ANT/3,(JA1ROQ/3),JP1LRT/3,
 JA2VSU/3,#JF2NMY/3,JH2KBB/3,#JI2GVL/3,#JP2XCM/3,JA4KEH/3,#JH4ARK/3,#JH4CHQ/3,
 #JH4RVF/3,JA5ND/3,JA5EVQ/3,JA6DOU/3,JA6PRG/3,JE6LVE/3,#JS6RRR/3,JA1BBR,#JA1ROQ,JA1VZV,
 #JP1QGO,#7M1RUL,#7N2RWX,#JG2TZW/1,(JE3KMZ/1),JE3NJZ/1,(JG3ODI/1),(JK3CSY/1),
 (JK3SMS/1),#JL3HBA/1,#JP3MUF/1,(JR3ELR/1),JA2NEN,JE2CBQ,JS2PHO,#JA4TBV,#JG4DZX,
 #JG4GZV,JH4ADV,#JK4UQS,#JL4CKF,#JM4PTF,#JN4OQT,#JN4VWH,JR4EUD,#JR4VEV,
 #JH5BKZ,#JH5DAH,#JK1PHL/5,(JK3CSY/5),(JE3NJZ/JR6),#JA0KNM/6,#JK7OSL,#JA9FTY,JE9OTJ,
 #JF9MEH,JH9DOY,#JH9GTD,JH9GUP,JR9VIY,#JI0HIH,#JR0DMI,JROEJL,#JROGFM,
 #9Y4MYA,#DS5KUZ,#N3JZ/W7,#UA3/JE3NJZ,#VE3CGC,#VK2/JE3NJZ,

この期間に1回以上チェックインした局 → 279局 2007年以降で21世紀初の参加局 → 105局

4. 2001-2008年参加局数平均等データ

毎月の平均参加局数を表示しました。1)は月平均が最多の年、2)は二番目の年に付加しました。

今年7月の参加局平均は、7月としては21世紀二番目になっています。

%年間最多 #21世紀最多 &年間最少 *前年同月越 21世紀

	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	08-07平均	08-平均
JAN	40.8	40.8	42.6*2)	52.4*	40.8	46.3*	49.5*&1)	52.5*	+3.0	45.7 +6.8
FEB	37.3	45.3*	46.0*	53.5*%	43.8	46.5*2)	54.5*1)	55.8*	+2.3	47.8 +8.0
MAR	42.2	43.6*	42.0	49.3*	39.0	46.4*1)	55.6*2)	54.0	-1.6	46.5 +7.5
APR	47.3	43.0	40.3	44.4*	45.6*	45.52)	53.5*1)	57.3*%	+3.8	47.1 +10.2
MAY	2)51.8%	45.0	46.2*%	45.5	45.8*	49.3*	51.0*1)	56.0*	+5.0	48.8 +7.2
JUN	44.2	44.3*	42.0	51.3*	48.0%2)	54.2*1)	60.4*#	49.0&	-10.4	49.2 -0.2
JUL	38.8	44.0*	40.5	42.6*	38.4	48.3*1)	58.8*2)	52.0	-6.8	45.4 +6.6
AUG	39.4	36.8	37.6*	32.8&	34.0*2)	44.8*1)	52.6*			
SEP	32.5&	35.8*&	33.5&	35.8*	40.8*2)	46.8*1)	53.0*			
OCT	39.02)	45.5*%	41.6	40.4	40.5*	44.8*1)	55.5*			

NOV 38.0 41.4* 2)44.3* 40.8 41.3* 39.0&1) 53.4*

DEC 41.0 40.3 44.8* 40.4 44.8*2) 45.5*1) 51.5*

平均 41.0 42.1 41.8 44.1 41.9 46.6 1)54.2 2)53.9 -0.3 45.3 +8.6

6. 南大阪 A 3 ロールコール最近の話題から

- (1) 今年 1/11 から 6/13 まで、23 回連続でロールコール参加局が 50 局以上でした。その後は一進一退状態で、もしかするとこれから何年間も「23 回連続」という記録を更新することはできないかもしれません。
- (2) 1 月に関西ハムシンポジウム、3 月の西日本ハムフェア、7 月の関ハム、そして 8 月はハムフェアと年に 4 回のイベントに参加することが 3 エリア 6 m A M ロールコール・グループの恒例となってきました。また、今年 2 月には大阪府和泉市で第 21 回のグランドミーティングをやりました。しかしながら、出展費用の高さから考えて、ハムフェアにはいつまで 3 エリア 単独で出展できるか未知数です。これからは、少しずつ軸足を 3 エリア内のイベントに移していくことが、現実的な選択でしょう。
※ 2009 年 2 月 15 日 (日) 大阪府和泉市で第 22 回のグランドミーティングをやりまます。
- (3) 6 m だけでなく、A M を他のバンドでも運用する機会が 3 エリアでは少しずつ増えてきました。430/144MHz は、すでに A M コンテストやハムフェア会場等で実施している臨時ロールコールでおなじみですが、一昨年のハムフェアから H F のハイバンド、去年からは H F のローバンドでもロールコールを行なっています。2008 年の関ハムでは、430/144/50/28/18/3.8MHz 帯の 6 バンドにて 2 日間でのべ 96 局が参加。E s で JA8/JA7/JA1 エリアからもチェックインがありました。もちろんハムフェア 2008 でも、会場周辺を対象とするロールコールを決行する予定。
- (4) 数年前から、南大阪 A 3 ロールコールは EchoLin や WIRES など VoIP 経由で他エリアや海外でも受信できるようになっています。不定期ですが、各地で 6 m A M や 430MHz のノードが運用され、ロールコールへのチェックインが可能なることもあり、最近では参加局のうち 3 から 7 局程度が VoIP 経由。南大阪 A 3 ロールコールでは、50.550MHz 付近の A M で聞こえる信号である限りグランドウェーブや E s ・ S c ・ M s などの直接波はもちろん、VoIP 経由のチェックインにも平等に対応するというオープンな性格のロールコールとして、今後も門戸を開いていくつもりです。
- (5) 2008 年の関ハムは、梅雨明け直後となった 7/19-20。会場近くの豊中市で最高気温 37 度を記録する状態で、屋外ブースはたいへんな状況でした。大量のラムネとそれを冷やす氷、簡単なスダレなど備えと覚悟があった 3 エリア 6 m A M ロールコールグループのブースでも暑さで長時間座っていることは困難で、スタッフが多いのをいいことに交替で冷房の効いた室内へ涼みにいかなければならない状況でした。今年の来場者数が、去年を 500 人下回った背景には、日程とこの暑さの問題があるように思います。こんな時、最初から有利な場所を確保しておけば体は楽でありましょうが、暑さで苦勞している少人数 (交替してくれる人がいない ...) の屋外ブースにまで思いを馳せることは困難という点で、事実を正確に認識するという面ではマイナスかもしれません。イベントの全体像を的確に把握するためには、身を涼しい場所に置くだけではダメであり、困難がもっとも集中する場面を見るべしという一般論みたいなものを感じることができたのは収穫でした。このあたり、効率や数の上で不利を承知で各バンドの A M にチャレンジされている各局の心意気と重なるものでもありましょう。まあ、来年の関ハムで有利な場所を確保して、シレッとした顔で暑さ・寒さ or 豪雨に喘ぐ場所を横目にみたいと思わないでは、ありませんが。このあたり、むずかしい選択では、あります。

9エリア6mAMロールコール



9エリアでは、2001年1月より、毎月1回50..55MHz AMによるロールコールを実施しております。

このロールコールは、団体やクラブなどのロールコールではなく、6mのAMが運用できる局であれば、どなたでも参加して頂けます。

現在、9エリアでは6mを運用される局も少ない状況です。ましてや、普段には、AMモードでの交信は、ほとんど聞くことができませんが、ロールコールの時には、数局から十数局のAMモードでの参加が有ります。ぜひ、一度聞いてみてください。

たくさんの皆さんの参加を楽しみにしています。((カット：氷見から望む立山連峰))

開催日時 毎月第二土曜日(原則月1回) 21:00~

周波数 50..55MHz

モード AM

主なキー局 JA9SWR、JA9SLD、JA5GJN/9、JA9VQU、他各局

※運用について

キー局

キー局は、輪番制などをとっておりません。主にJA9SWRが行っていますが、都合などにより参加できない場合は、待機しておられる、どなたからでもキー局を務めて頂いています。時折、タイミングが悪くキー局が不在で、どなたからも電波が出なかった場合には、ロールコールが進行していない場合があります。第二土曜日に時間になっても何も聞こえないようであれば、電波を出してみてください。ワッチしている局が必ずいるはずですよ。

ロールコールの進め方

開始のアナウンス⇒ チェックイン受付(レポート交換)⇒ 一通り受付が終わった時点で再度参加各局からインフォメーション受付⇒ 繰返し
参加局数にもよりますが、(30分~60分程度)

インフォメーション

Info H.P. <http://www.fitweb.or.jp/~t-angel/JA9SWR/>

メーリングリスト <http://www.freeml.com/info/9amrc@freeml.com>

問い合わせ ja9swr@jarl.com

新潟 6mAMRC

新潟では毎月第3土曜日 21:00～ 50.620MHz で6mAM ロールコールを行っています。
新潟県、特に下越（新潟市近郊）にはモバイルで移動運用できる適当な山岳道路が少なく、
キー局は冬季間を含めて担ぎ上げ移動となります。

この1年間の傾向として

- 1、 チェックイン局数が30局を超えるようになってきた。
- 2、 1エリアからのチェックイン局が登場するようになった。

ことが挙げられます。

新潟では2mFMもまったく静かですが、月に一度6mの熱いAM変調が飛び交います。
キー局の移動地（多宝山634m 新潟市西蒲区 or 角田山482m 同区）の立地条件
（海岸端の独立峰）から9エリア、日本海側の7エリアは比較的良く入感しますが、
1エリア方面はなかなか厳しいのですが、それでも最近では1エリアからチェックイン
される局が登場し、これからが楽しみです。

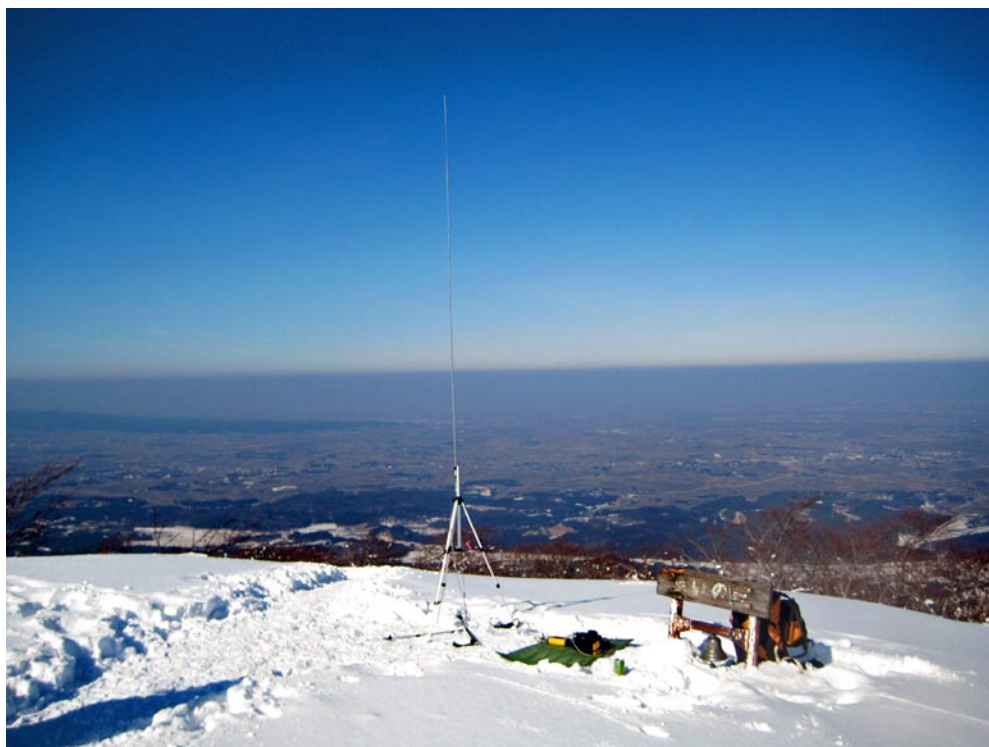
又、昨年10月から6mCW ロールコールが始まり8月2日（日）現在で39回を
数えています。

新潟6mCW ロールコール

日時 毎週日曜日 07:30～ 50.320MHz（コンテスト時は50.220MHzの場合あり）

キー局 JJOHYE（新潟市西区）

※ リスト形式による呼び出しの後、一般呼び出し（どなたでも参加できます）を行います。



五頭山（910m 阿賀野市）へ移動。1/2 λホイップ+FT-817、積雪3m 2008.03.09

真空管による 6mAM トランシーバーの製作

JA1AI 稲葉 全彦
横浜市鶴見区在住

本来 私は自作大好きハムであり、若いころには各雑誌などに無線機を作っては記事を書き、頼まれては書きとやっていたのですが、時代も変り CQ 誌などの記事を見ても「頭が痛くなる」方が先になってしまいます。時間があるときは何かを作って居ないと退屈して仕舞います、小さい簡単なものはトランジスタや IC 等でもあまり苦にはなりません「大きいもの」になると目の方が言うことを聞いてくれません。

と 成りますとやはり真空管の方がずっと楽であり、また古い人間には技術も古いので楽しく遊べます。

「こんなトランシーバーを作って見よう」と思い立ったキッカケは、今から五年程前に、FCZ 研究所の AM10mW 送信機キットを組み立てて、私 JA1AI (横浜市鶴見区施抜 40m) と山梨県北杜市白州 (海拔 830m) の JFIVNZ / 1 との 120 余 Km をメリット 4 ~ 5 で結べた事に始まります。そこで、後期高齢者とされてしまった“自分のことも考えて目玉に宜しくない半導体は製作困として、真空管のミニパワートランシーバーの製作を思い立ちました。そんな時、横浜石川町のエジソンプラザで 5



送受信機前面

連バリコンを使った FM チューナーユニットの新品ジャンクを見つけました、これぞ FB なりとこのバリコンを使って熟慮の上、手持ちのパーツなどなかき集め、構想をまとめて作りあげたのが、このトランシーバーです。

真空管による 6mAM トランシーバー性能概略

送信部

周波数の範囲	50.00 ~ 51.00MHz
空中線出力	約 500mW
終段管入力	135V 11mA
変調方式	終段陽極変調
源発振方式	基本波水晶発振 (3 波) 及び受借部局発に受信機第一 IF 周波数 (11.7MHz) を混合による VFO

受信部

周波数の範囲	50.00 ~ 51.00MHz
受信方式	ダブルスーパーヘテロダイン
	RFI 段 - 1stIF (11.7MHz) 2nd 局発 (11.325MHz) - 2ndIF (37.5KHz) - 検波 (ANL)
	- AF2 段 (変調器と共用)

受信機感度

- 4dB (10dB 【S + N / N】)

電源入力

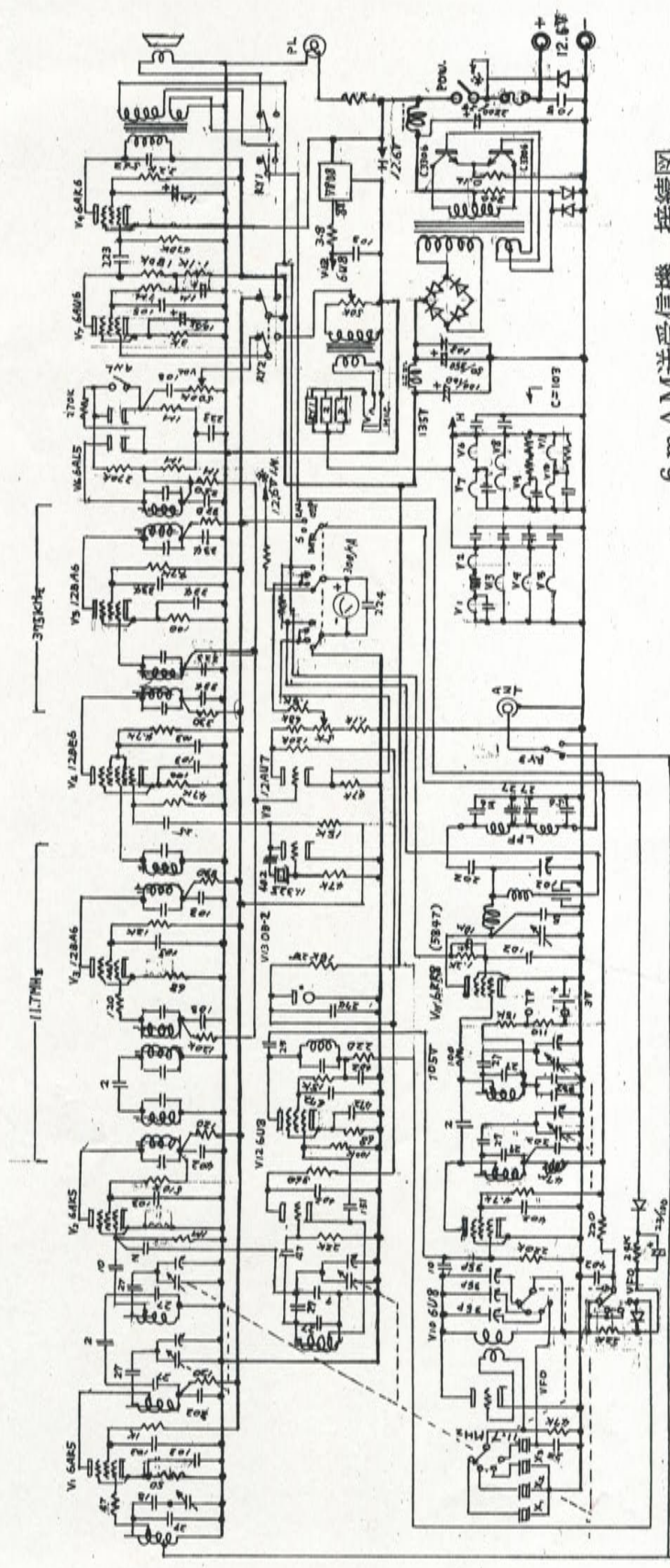
DC · 12.6V 3.3A

本体寸法

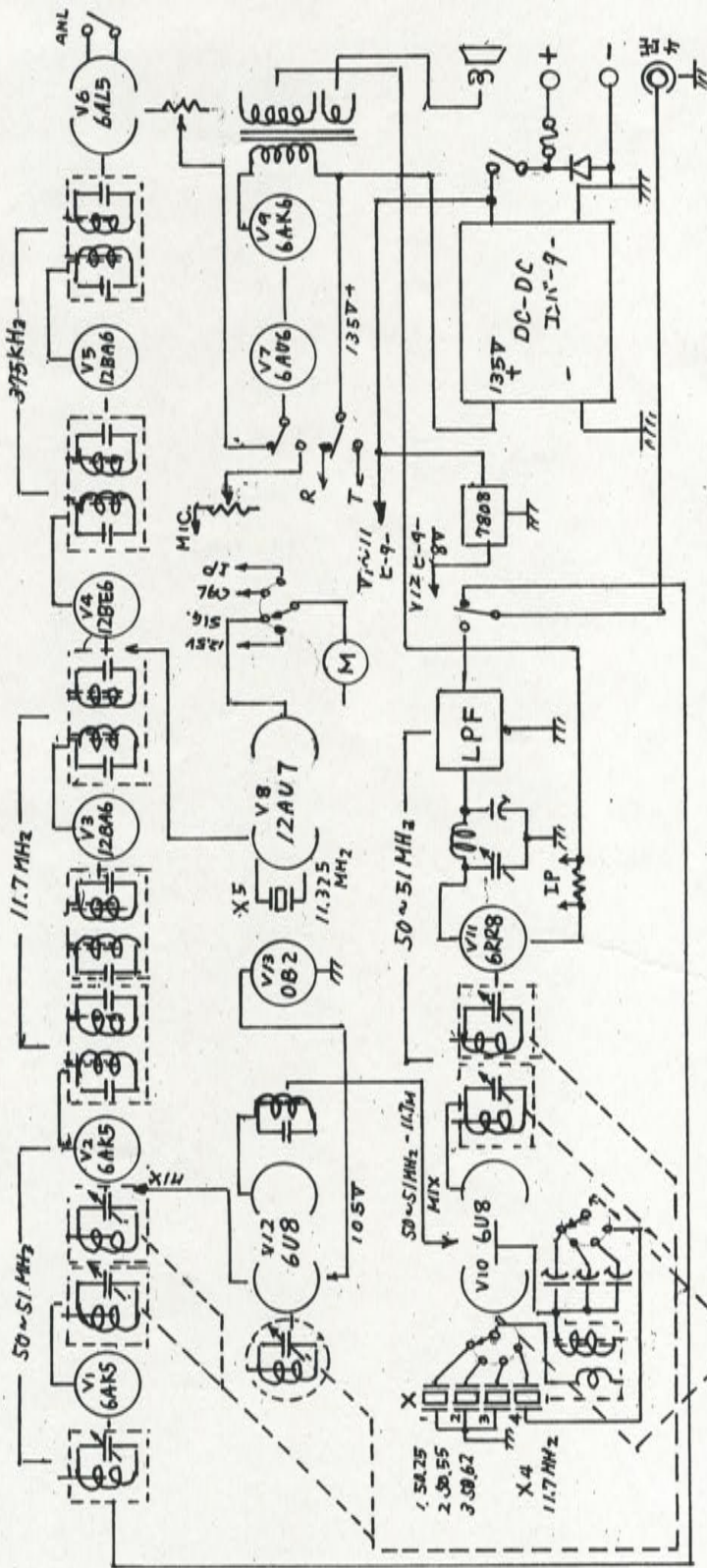
W=250mm H=130mm D=280mm

重量

5.8kg



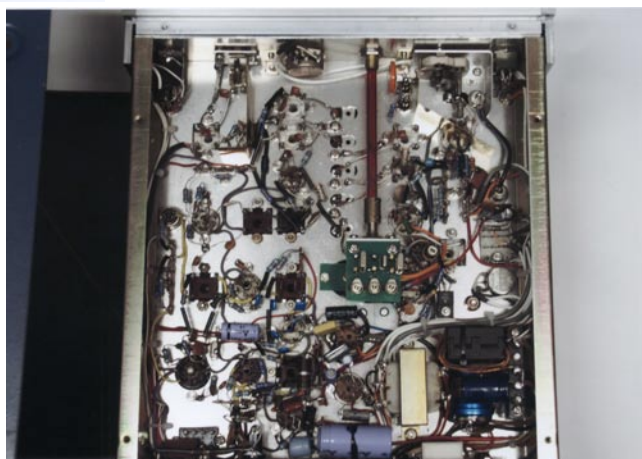
6 m AM送受信機 接続図



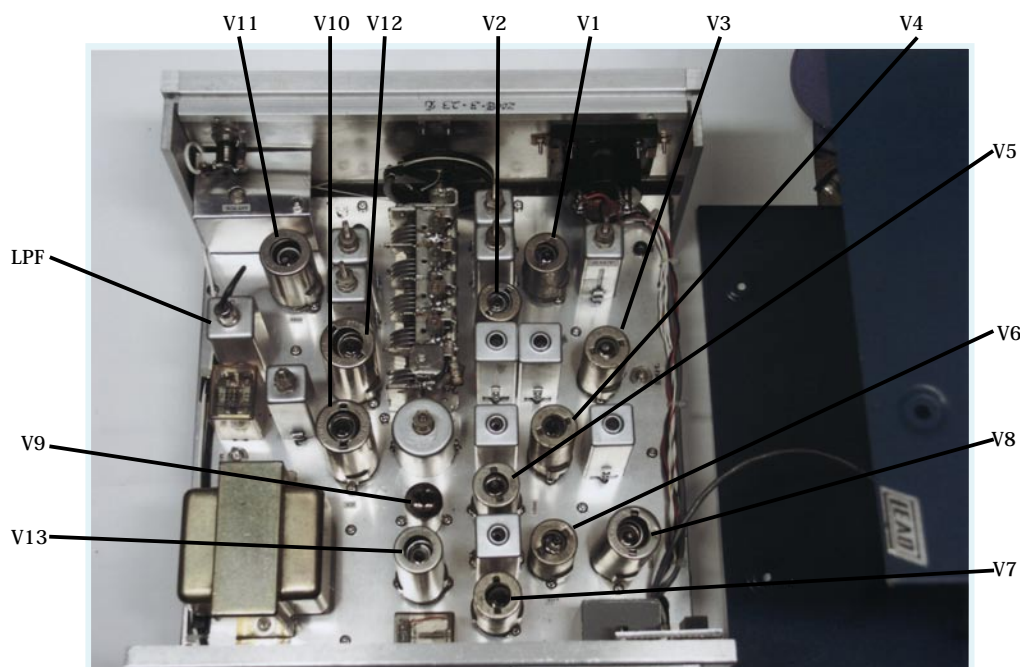
6 m AM 送受信機 系統図



背面



シャーシー内部



真空管の配置状態

『DDS 式 TX88A/D 用 VFO (50 メガ専用) の製作』

JA4AMV 丸山 彰良
埼玉県北本市在住

◎はじめに

私達が使っている無線機の局発部ですが、DDS を含めて作られたものが増えていきます。今回手持ちのジャンク部品を活用し通倍式 AM 送信機の VFO を製作してみました。特徴として

- ・ DDS 信号を使い TX-88 50 メガ AM で約 1kHz ステップを出力
- ・ IC は基板の製作が楽な汎用の 2.54m/m ピッチ DIP を使用
- ・ ロータリーエンコーダーはパソコン用マウスのものを流用などです。



◎ VFO の構成

親機は 6 通倍で 50 メガを得ているので 8MHz 帯を与えればよいこととなります。しかし部品の制約から原発振とすることは出来ません。DDS で作れるのは、ずっと下の周波数です。

この為 VFO 出力とするには

- ① 水晶の局発を用意し、ヘテロダインで UP させる
 - ② PLL に組込み、VCO により得るなどが考えられます。
- ①の回路は単純ですが DDS のノイズ、スプリアスがそのまま送信電波に乗ります。②では DDS 信号は内部の処理に使われるだけで、欠点が表に出にくくなります。多バンド化が必要なメーカー製でよく使われます。まず回路が簡単な①の方法でやってみました。

◎ DDS 部の紹介

①基準クロック

DDS では 1 周期のサインデータが収められたメモリ IC のアドレスを刻々とアクセスします。従ってこのスピードに追従できねばなりません。使ったのは MOS スタテック RAM で 200nS 程度のもので、基準クロックを 5MHz とすると読み出しは 200nS ごとになります。ここは手持ちの水晶 5760kHz を使用しました。

②フルアダー ビット数

基準クロックから周波数ステップを決めます。4 ビット IC 74LS283 を 4 ケ使い 16 ビットのフルアダーとしました。アドレスデータラッチ IC との組合せで 87.9Hz の分解能となります。

③生成周波数

原理的にクロックの 1/2 以下となりますが、波形の純度を考えると低い程有利です。低すぎるとミキサー後の不要信号を取り切れません。600kHz 帯を選びました。これは基準クロックの 1/9 程度です。以上①～③は別紙周波数計算表にまとめています。D-A 変換は CMOS ラッチ IC と R-2R ラダーの組合せです。この後 FET で受け定 K 型ローパスフィルターを通しミキサーへ導きます。

◎1 周期 サイン波形データの作成

波形メモリは 6116 を 2 ケ使い水平 2k バイト，垂直 12bit です。各アドレスのデータは N88BASIC で 次の方法で作成しました。

① 0 ~ 2047 を 2048 で割った後、 2π を掛け各ラジアンを算出

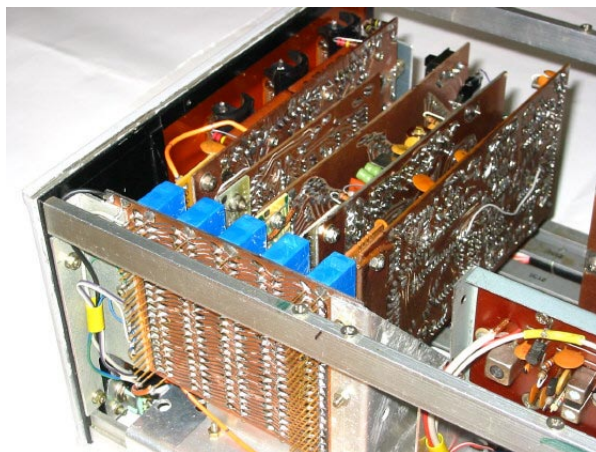
② SIN 関数に入れ 1 周期分の sin 値を求めます。(最大 1，最小 -1 が得られます)

③ 1 を加え最大 2，最小 0 にした後、2047 倍した 10 進値を求めます。

④ HEX \$ 関数により 16 進に変換します。

このデータはプログラムに入っています。

電源 ON のマイコンスタートで RAM へ転送してから DDS を動作させます。



◎動作結果

・まず DDS 出力をオシロスコープで観察してみました。一見普通のサインカーブです。でも顔を画面に接近しますと上下の湾曲付近が少し震えて見えます。D-A 変換で起る歪と思われるのですが、生成周波数によりバラツキがあります。

・次はダミーを使い試験電波を出し IC-502 で受信してみました。中心から $\pm 150\text{kHz}$ に渡りいくつものビート音が聞えます。基本波とのレベル差を色々と比較しました。S メータのダイナミックレンジから現状の近接スプリアス比は 40 ~ 50dB と想定しています。

・送信 1W 以下の QRP では法令の許容値も満足し、何とか使えると思えますが ---。とりあえず 5/4 の AM コンテストに参加しました。

◎まとめ、補足事項など

・スプリアスを減らすべく回路の見直し等を行っています。なおメモリを垂直 8 \rightarrow 12bit で少し波形改善がありました。

・回路図は載せていませんが、CQ誌 1995 年 8 月号の J R 3 K B U 氏の記事を参考にしました。

・各デジタル基板はプラグインとし、コネクタで CPU バスに接続されています。写真は装着状態ですが、左側の基板で連結を行っています。

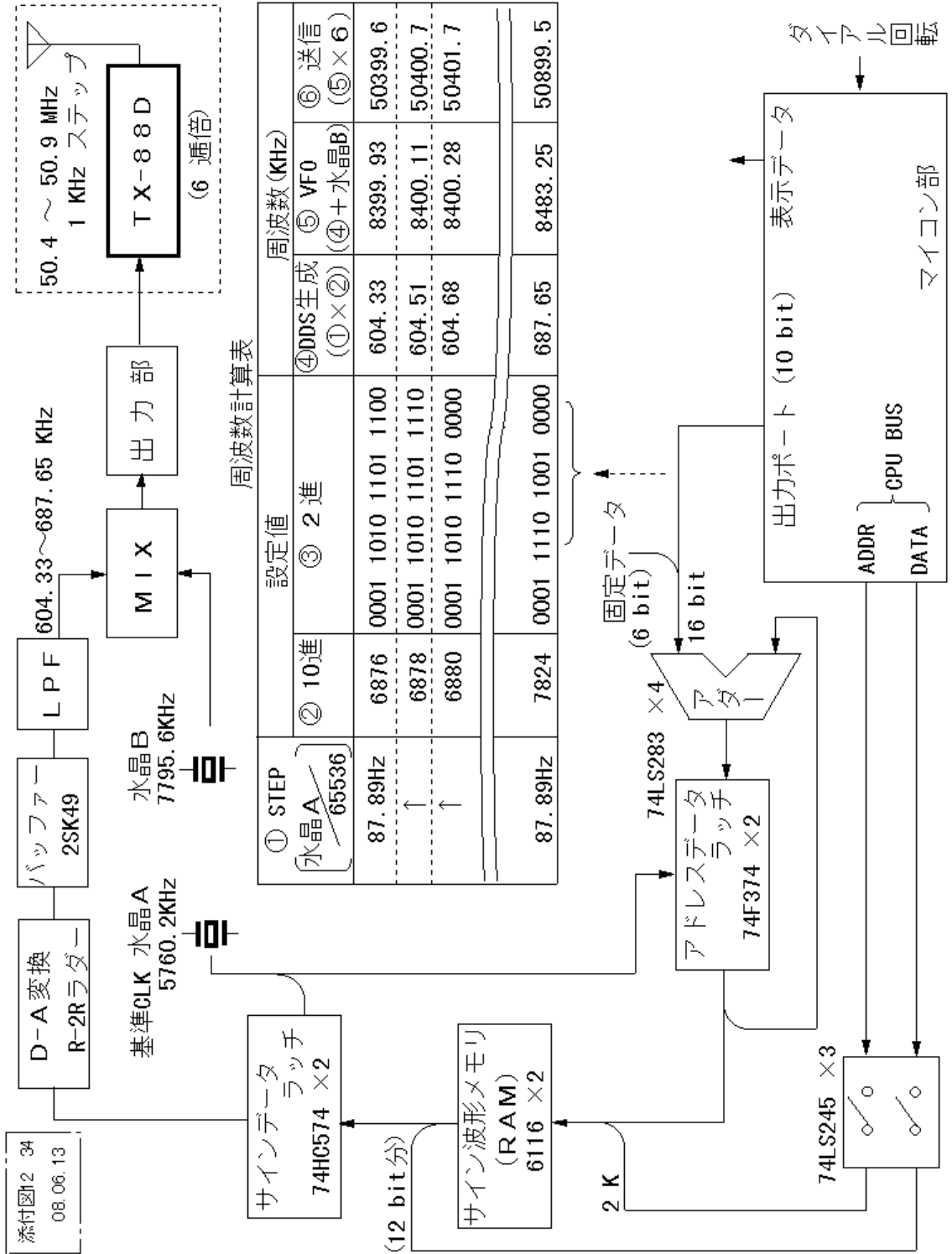
・RAM 使用で波形データの切替比較が簡単にできます。バスが出ていない CPU では難しくなります。この場合 ROM 対応となります。

・ロータリーエンコーダーはマウスの回転部と昔の糸かけダイアル用フライホイール軸をユニバーサルカップリングで結んだものです。フライホイールがノブになっています。

・エンコーダーを使った制御ソフトの考え方を 2007 年パンフレットで紹介しています。

自作派諸氏におかれましては積極的な実験を行われることを希望しています。

そして 50 メガ AM で会いましょう。



AM送信機の製作

JH8BMS 佐久間 右文
北海道 余市市 在住

はじめに

AMの魅力は、電波伝搬の変化を、他のモードよりも直接的に感じられるところにあるのではないのでしょうか。AMが唯一、実用となっている6m帯では、交信可能な機会は強力なEs発生時にほぼ限られます。コンディションの変化を待つのに1日の半分を費やし、AM局が浮かび上がってくるのをひたすら待つ。・・・細かなQSBが手に取るようにわかり、その谷間でフェードアウトしそうな相手局との、自作機による緊張感に満ちたQSOは何物にも代え難い達成感を味あわせてくれます。

私は6mを1998年より始めました。TRX602によるQRPPです。その後2000年にはリニアアンプを付加し、2Wでの運用をおこなっていました。

AMモードは2000年より、真空管UY-807終段、6GB8pp変調の自作機で始めました。その後、2E26で9Wの送信機を作り、2台で運用していました。2005年にはUY-807で13Wほどの出力を出していました。これら6mでのQRPPによるSSBや、QRPP各局との交信、終段変調によるAM機の運用によって、6m帯のAMでQSOが成立する機会を増やすためには、10Wから20W程度の出力が必要なのではないか、と感じるようになりました。

その後、807に640Vをかけ、マイナス変調とプラス変調の狭間で、20Wを得て運用していましたが、耐電圧に対する配慮を少なからず欠いていたため、リレーのスパークによって807を不良にしまいました。入手可能なリレーに限られ、十分な対策を取らないまま、予備の807もオシャカに、最後にS2001もだめにするなど自分でもあきれることを繰り返していました。私とのQSOの途中で、突然、私からの応答がなくなったかたがいらっしゃると思いますが、そのとき私は807のプレート電流が流れっぱなしになっているのを見てあわてふためいていたのです。また、部品が古く、ブロックケミコンやチューブラーが大爆発するなど、500V以上の電圧を扱うのは、部品入手の点からもだんだん難しくなっていました。

そこで、20W程度のAM機をトランジスタで製作出来ないかを考えました。しかし、AM全盛の頃は真空管主流の時代であり、トランジスタを使った製作記事も多くなく、現在のようなトロイダルコアを使用した、再現性の高そうなものは見つけることが出来ませんでした。

5W程度のリニアアンプであれば、トロイダルコイルを使用した製作記事は豊富にあります。そこで、私のAM機のトランジスタ化にあたっては、小電力リニアアンプの習作を繰り返し、徐々に電力を大きくしていき、その上でAM機の実験に取り組みました。3年間にわたる無数のカットアンドトライの繰り返しにより、変更申請にまでこぎ着けることができました。

トロイダルコア使用の利点は、コイル同士の不要な結合が少ないため、製作が容易になることです。真空管セットではファイナルのみストレートアンプとし、それ以外は遜倍するように作りますが、伝送線路トランスを使用した半導体アンプはこの点、容易に段数を増やすことが出来ます。

また、ベタ基板にランドを貼って製作を進める方法は、真空管セットの製作に近く、回路変更が容易であることと、全面アースをとれることにより、トランジスタセットの製作の敷居を今までよりはるかに低くしてくれ、試行錯誤を繰り返して製作を進めるにはうってつけの方法だと思います。

2SC1945pp(2SC1307pp)16W 送信機

T X 部

T X 部は「トロイダル・コア活用百科」を参考に製作を進めました。

伝送線路トランスを使用した 20W クラスのプッシュプル回路や、これにコレクタ変調をかけた回路は見たことが無かったので、すべて手探りで進めました。NFB は実験的に決めています、動作の安定化に貢献してくれています。

変調トランスは大きな問題です。2A を流すことの出来る市販品は見たことがありません。考えたのは、小学生の頃の記憶でした。真空管テレビを分解したとき、スピーカーについていた出力トランスの 1 次側に 100V をつなぎ、2 次側に懐中電灯の豆電球をつなぐと電池いらずで遊べる事でした。出力トランスの 2 次側はたいてい $8\ \Omega$ とか $4\ \Omega$ です。懐中電灯の豆電球は 3V くらいで光ります。3V 位のタップが 2 回路ある電源トランスなら、 $8\ \Omega$ 対 $8\ \Omega$ くらいになるのではないかと。真空管用電源トランスならヒーター用で 3A くらいのならあったはず。などと強引な考えを勝手に巡らせ、物置からものすごく大きな電源トランスを出してきました。実験してみたところ、なんとなく使えそうな予感がしましたので、3A 容量 2 回路で、タップのたくさんあるトランスの製品を探し、購入しました。結果は良好で、変調をかけることが出来るとわかりました。

後で知ったのですが、変調トランスに電源トランスを使用した記事は過去に発表されており (JAAYO 丹羽 OM)、この方法は広く知られているのかもしれない。実際、QSO でお話を伺った複数の OM から、昔は変調トランスに電源トランスを使ったり、自分の手で変調トランスを巻いたと聞きました。

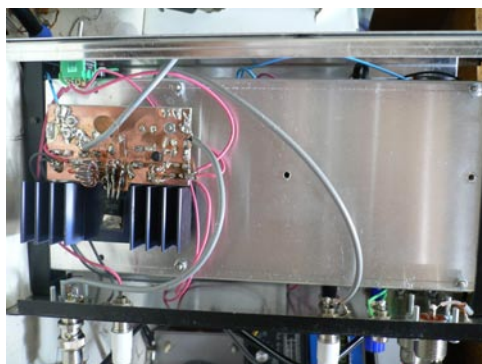
AF パワーアンプは 1 素子で 20W 出る物がある時代ですので、迷わずキットを流用しました。コレクタ変調による AM は、SSB よりもドライブをはるかに多く必要とし、また、連続波ですので、信じられないくらい各部が発熱します。放熱板はドライブ段から、SSB 機よりも一回り大きな物を要します。また、コア材も一回り大きい物が必要になります。電源については T X 部、変調部それぞれ 5A は必要です。SSB 機でもそうですが、電源を冷遇すると発振などのトラブルを発生させる原因となります。私は SSB 機で電源をしっかりした物に作り変えることで、出力が増加する現象を経験しています。3 端子レギュレーターには大型の放熱板をつけるのを忘れないようにします。また、電源のレギュレーター IC が不良で送信機の動作がおかしくなっている事もありました。

なお、T X の構成を見ておわかりと思いますが、すべて伝送線路トランスを用いており、フィルターは最後の 5 段 L P F です。

当初、VFO 部での逡倍の取り違えに気付かず、アンテナをつないで「？」となりました。ダミーロー



励振段および電力増幅部・L P F



増幅部

ドでは 20W を楽勝で出せていましたが、SWR1.1 のアンテナをつないでいるのに、電力のほとんどがアンテナから反射されて戻ってくるのです。「???」。真空管時代の伝説的間違いを、まさか自分がするなんて、考えてもいませんから、気が付くのと、その後の対策を取るのにすごく長い時間がかかりました。

最初、出力されているのが 33.68MHz の電波であることに気が付かず、アンテナをつないでいたのです。

変調については、ドライブ段はマイナス変調、終段部は、マイナス変調とプラス変調の中間となっています。

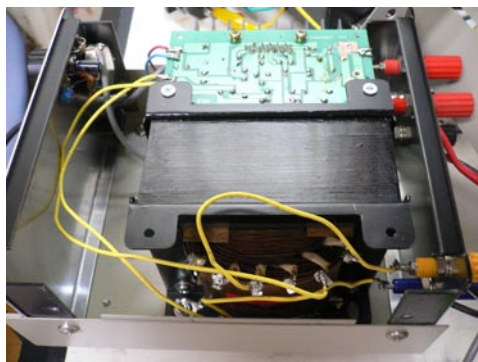
変調の状態は、各部の結合状況、ドライブや負荷、N F B 量、変調トランスのタップ位置などで大きく影響します。ひとつひとつ根気を据えて詰めていきました。

いろいろ試したのですが、2 台目に作ったシングル機のような明快なプラス変調をかけることは今のところ出来ておりません。P P 回路では難しいのでしょうか。

完成後しばらくして、送信テストをしました。マイクに「わっ」と言ったとたん、出力が出なくなりました。2SC1945 の B - E 間が不良になっていました。回路構成上無理がかかっているのかもしれませんが。そこで、シングル機で比較的丈夫そうだと感じていた 2SC1307 に交換し、再調整の上、今に至っています。

V F O 部

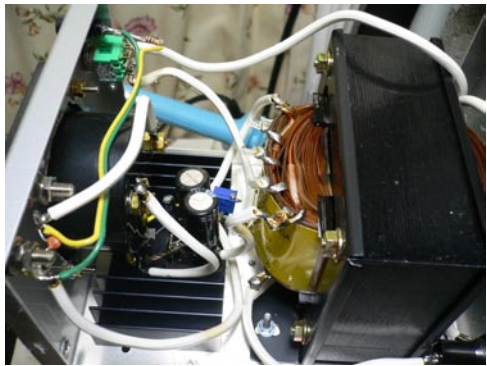
V F O はトリオの T S - 5 2 0 X の外部 V F O ユニットを分解したものがありましたので、これを流用しています。8.42MHz を発振させ 3 通倍し 25.26MHz としたのち、2 通倍して 50.52MHz を得ています。その後 2 段増幅して 2 5 0 m W を得ています。同調回路のコアは中間位置で目的周波数に調整できるように C をとっかえひっかえしました。調整には R F メーターを使いましたが、周波数の確認では、周波数カウンターの感度が低いこと、R X では目的周波数に同調しているか解りにくく、苦勞しました。G D M を吸収型周波数計にして、目的周波数であることをメーターで確認しながら各段を調整しました。



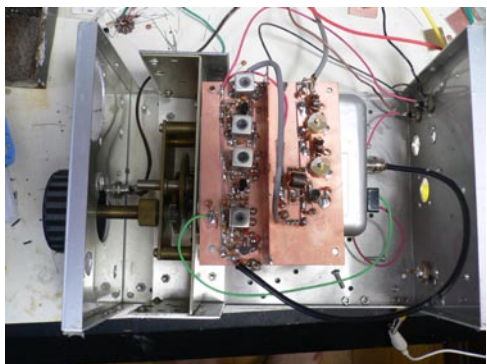
変調トランスは電源トランスを流用



送信部用電源



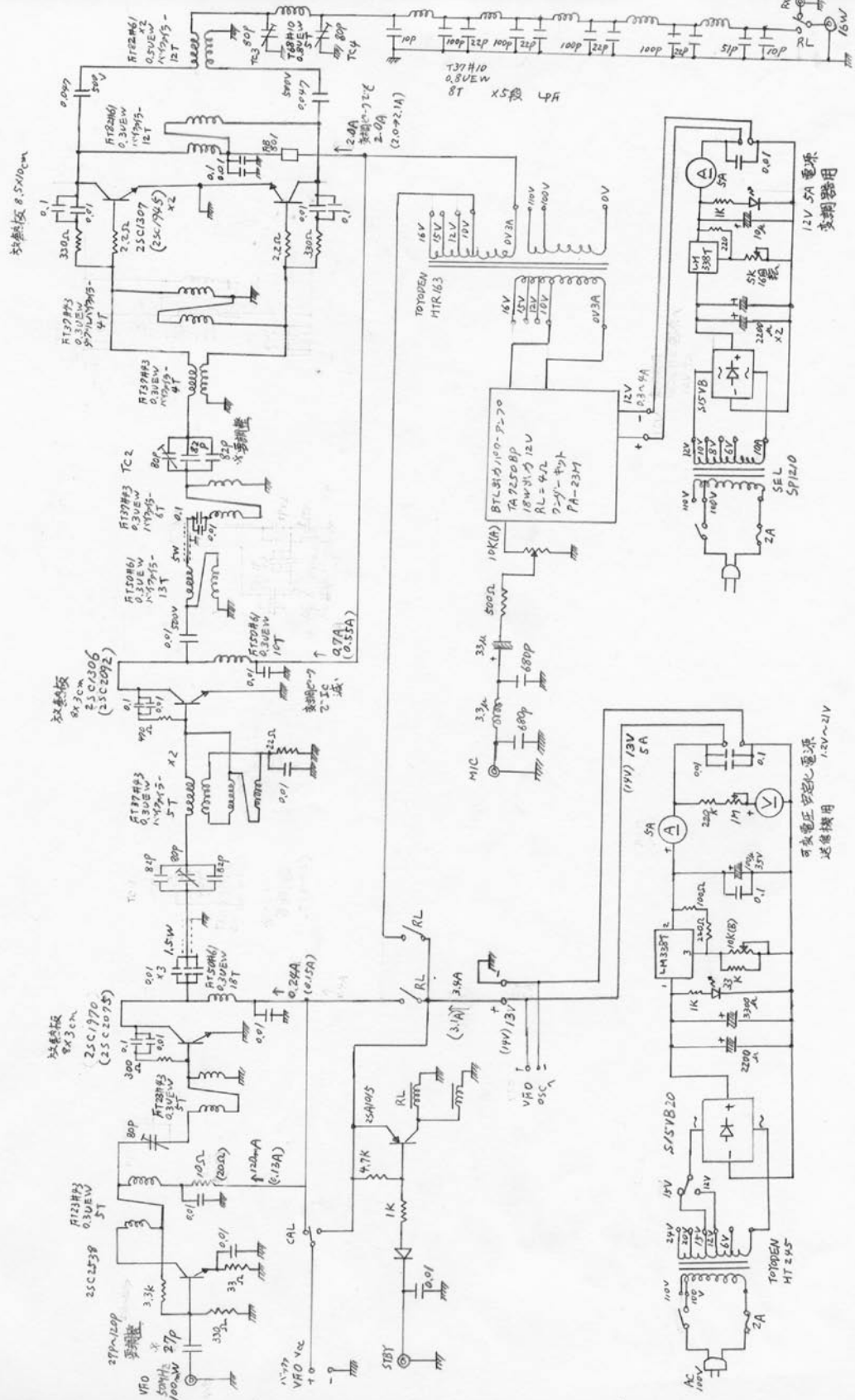
変調器用電源



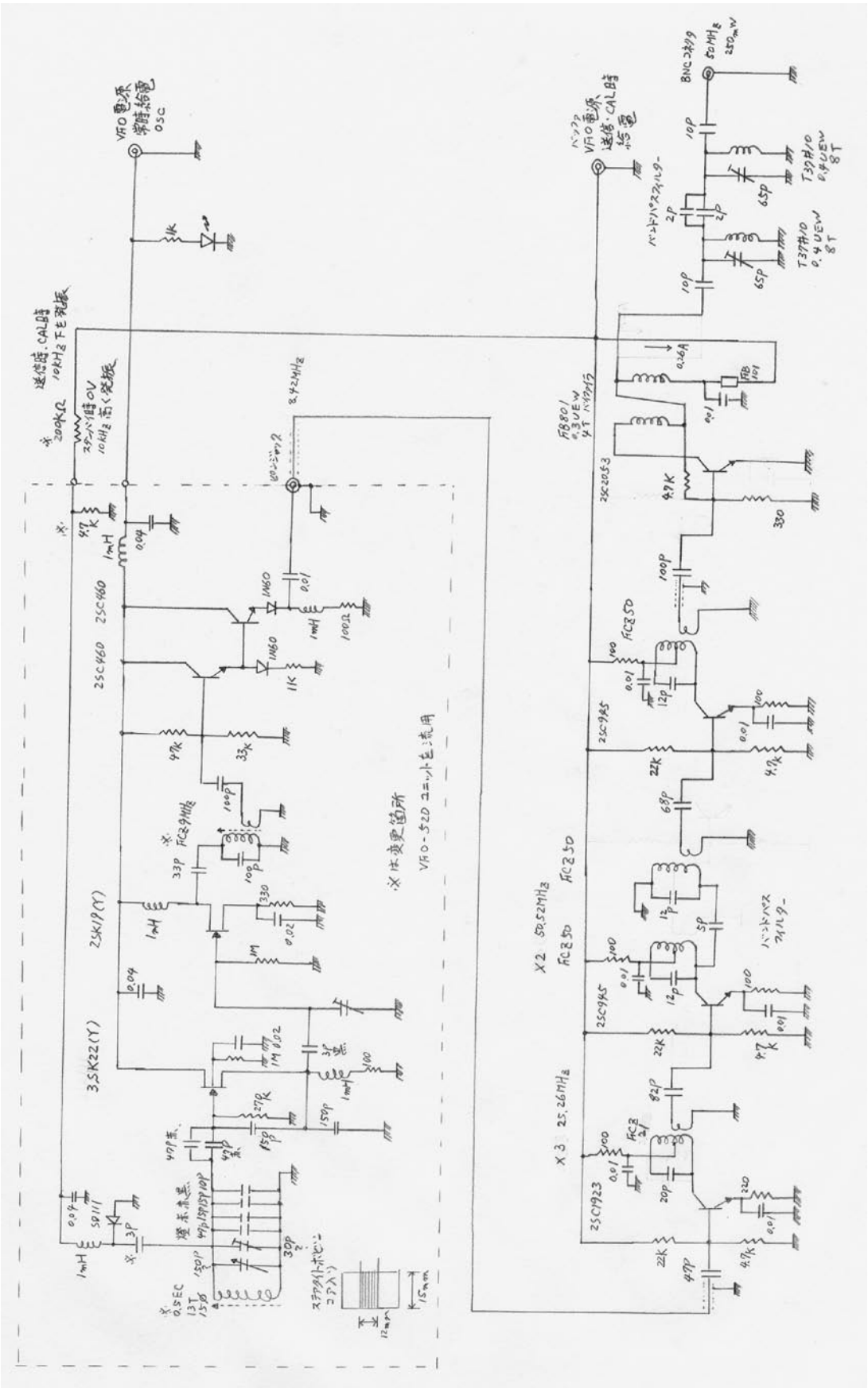
VFO ユニットと停倍部

2007.8.5
2009.10.1
TH8BM5
2007.11.5
2008.3.28

25C1307PP
(25C1945PT) 18W AM送信機

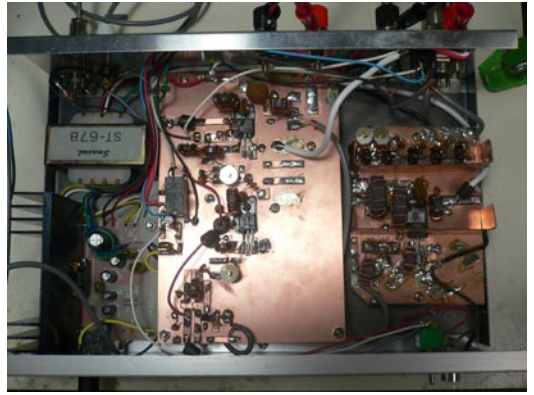


25C1307 p 送信機

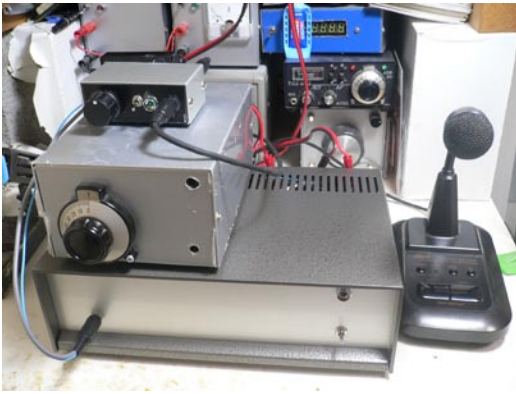


2SC1307 シングル 14W 送信機

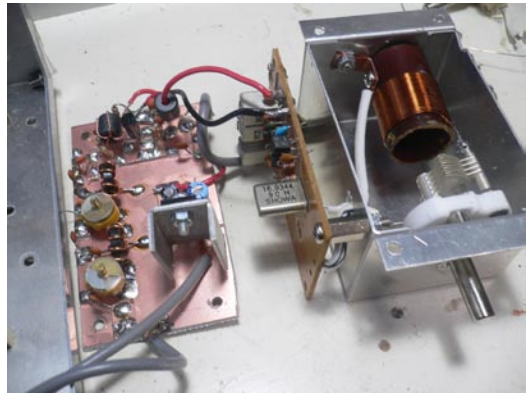
変調トランスは橋本電気（サンスイトランス）の ST-67B を使用しました。8 W クラスのトランジスタ AF アンプ用のものです。TX 部は伝送線路トランスを用いた構成です。VFO はキットの VXO 基板を分解したものがありましたので、これを改造して使用しました。VXO の安定対策の一つとして、可変範囲を欲張らないことと、直列 L の径を大きくするのが有効ではないかと考えており、直径 20mm の空芯ボビンを使用しています。VXO ユニットからの出力はバッファーを経て BPF を通して TX 部へ接続しています。この送信機は 2SC2092-2SC1307 の構成で、気持ちのいいプラス変調がかかっています。



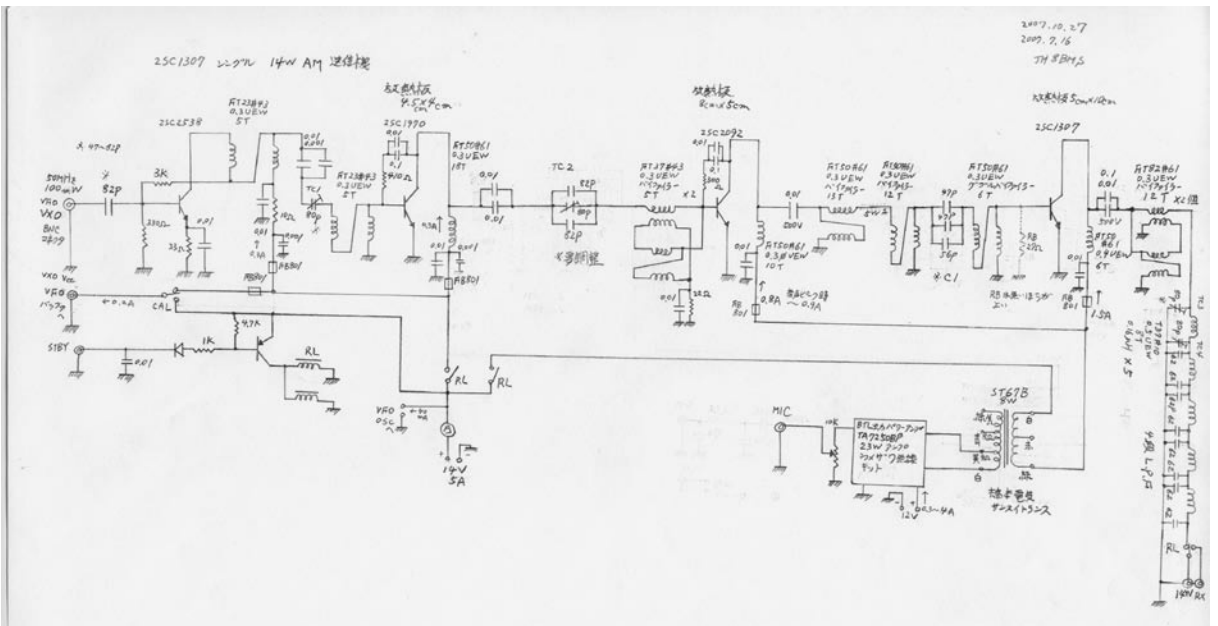
送信部



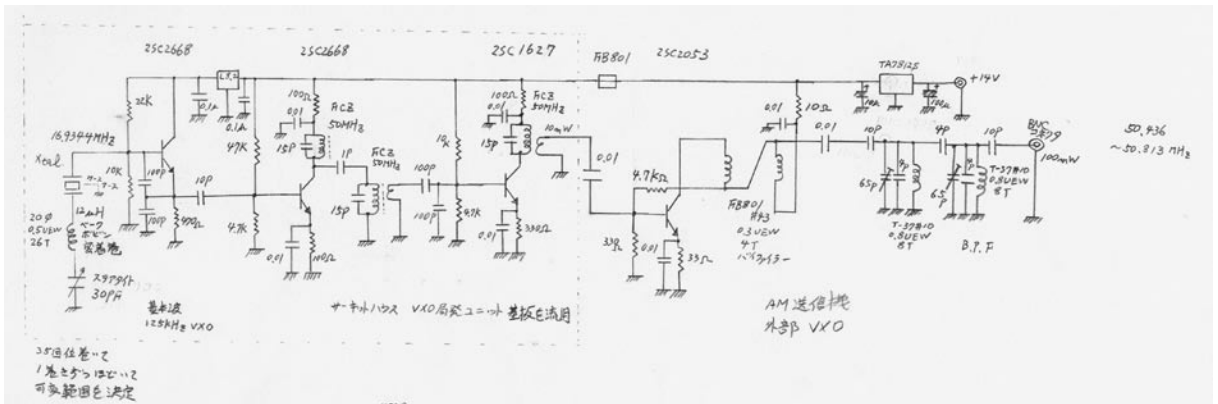
完成した様子



VXO部



2SC1307 シングル送信部



プラス変調とマイナス変調について

VXO部

送信機の製作過程で、前段との結合を調整することで、マイナス変調からプラス変調に変わる

過程が観察出来ました。その様子は、おおよそ別表の通りです。送信状態で、コレクタに入れた電流計とダイミーロードを接続した通過型電力計を目視しながら、マイクから「わっ」となりますと、 I_c と出力が「ピクン」と変化します。ドライブが極端に少ない状態では、「わっ」と言った時に、コレクタ電流が減少し、同時に出力も減少します。

コレクタ変調でのプラス変調とマイナス変調の関係

前段との結合容量を増やし、ドライブを変化させたときの音声ピークでの I_c の増減と出力の増減の変化

コレクタ電流	1.6A 減	1.7A 減	1.65A 変化なし	1.6A 増	1.55A 増	2.0A 増
出力	5W 減	7W 増	8W 増	7W 増	8W 増	動作不安定 減
変調	マイナス	マイナス	過渡状態	プラス	プラス	—
結合容量	47pF	150pF	220pF	220pF +150pF	220pF +150pF +120pF	220pF +150pF +120pF +330pF

(ドライブ段は I_c 減・出力増の状態)

製作途中で実験したもの

別表

前段との結合を増やし、ドライブを多くしてゆくと、

I_c の減るのは同じだが、今度は出力が増加するようになります。さらにドライブを多くすると、出力が増加するのは同じだが、 I_c は変化しなくなります。もっと結合を増やし、ドライブをもっと多くすると、今度は、「わっ」と言ったときに I_c が「ピクン」と増加し、出力も増加する状態となります。この状態をプラス変調として、調整の目安としました。この領域を超えてドライブが過剰となると、 I_c の増える状態は同じだが、出力が減少するようになります。また、動作が不安定となりました。試行錯誤の過程での実験のため、このときの回路や詳細は残っておりませんが、これらの状態の変化を製作・調整の目安として使用しています。調整にあたって重要なことは、出力がでるからといって、いっぱいに絞り出すのではなく、プラス変調がかかる範囲の出力にとどめておくことです。プラス変調をかけるためには、大きな励振を必要とします。励振不足でプラス変調がかからない点は、真空管セットと同じでした。

14Wsのプラス変調と18Wpp マイナス気味変調はどちらが飛びが良いか。

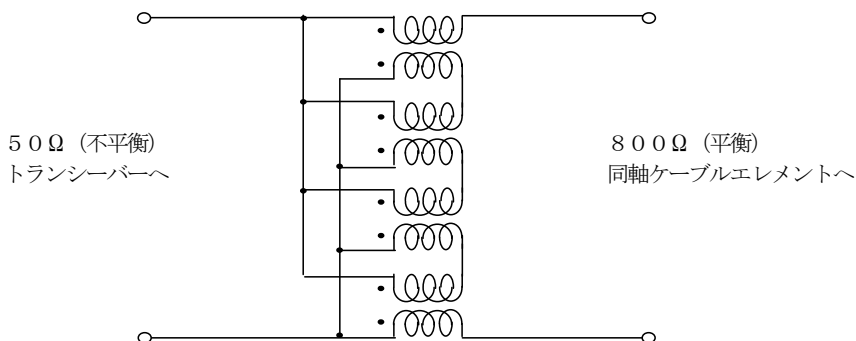
現在のところ、18Wpp機のほうが応答の確率が高く、QSO数も多い状況ですが、しばらく比較を続けたいと思います。

50Ω：800Ω バランの製作

JA2AZZ 杉山 隆司
愛知県北名古屋市 在住

CQ誌2008年7月号(P56)に掲載された「クロス給電方式7MHzダイポール・アンテナ」(50Ω系同軸ケーブルをエレメントにした短縮されたアンテナ)を給電するために必要なインピーダンス変換バランの製作法を解説します。CQ誌を一読して製作していただけたら良いかと思います。

バランの構成図



巻線比	1 : 4
インピーダンス比	1 : 16
インピーダンス変換比	50Ω不平衡 : 800Ω平衡
使用フェライトコア	FT-114 #43x4
巻き方	0.5ΦKQE線を2本振りにしたバイファイラ巻各10回巻
作動周波数	3MHz以上のHF帯 (末尾参照)

バランの製作に時間を掛けて丁寧に作ってください。

- 決してエナメル線やポリウレタン線をそのまま使わないでください。
一次側と二次側とは電位差が4倍になりますので絶縁について考慮せねばなりません。
- コアに巻き込むバイファイラ線は**仮線で長さを決めて**から作ってください。
この説明書によるコア・線材を使用する分については以下の参考図のとおりでOKです。
- バイファイラ巻きは4つのコアがそれぞれ同じ振り数を守って極力コアに密着するよう巻き込んでください。せいぜい50mmあたり6~7回の振りでOKです。
- この4個のトランスは極力均一性を保つように作ることが大切です。
- コアから各接続部への長さは全て同じにしてください。
- ケース内にコアを収める形状には特に考慮する必要はありません。

バイファイラ線 (ペア線)

この図は2本の線を振 (よじ) ったものです
 今回のバランではこのペア線を4組作ります
 あまり強く線材を引っ張った状態で振ると部分的
 に細くなったりしますので注意して下さい

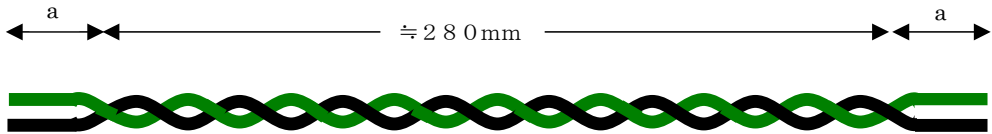
400mmほどのKQE線を2本用意して下さい
 図のように振り部を280mm、接続用リード部
 (a) を70~80mm確保します

線材は 0.5mm KQE線を使用しています

この線材は0.5mmの単芯に耐熱絶縁被覆が施されてい
 て外径は1.0mmです

耐熱350℃1分 200℃30分 連続90℃
 テフロン線に比べ安価で絶縁被覆が薄いので単芯であ
 ることが製作し易いので採用しました

「マルツパーツ」で購入しました 条長2m x 7 (色)
 ¥577円 (昨年5月) でした この線材以外でも差
 し支えありません



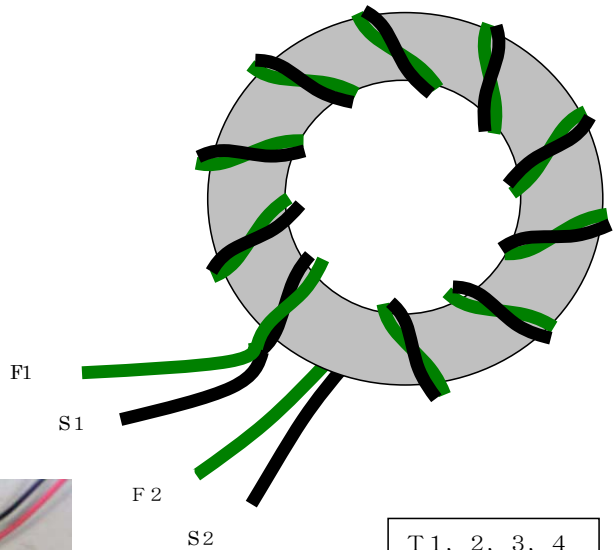
バイファイラ巻き

コアの内側を通った回数が巻き数です
 10回巻きで作ります
 使用するフェライト・コアは
 FT-114#43 4個です

このトランスを4個作ります

巻き方は

バイファイラ線のほぼ中央をコアの内側にあ
 てがい左右に巻き込みます

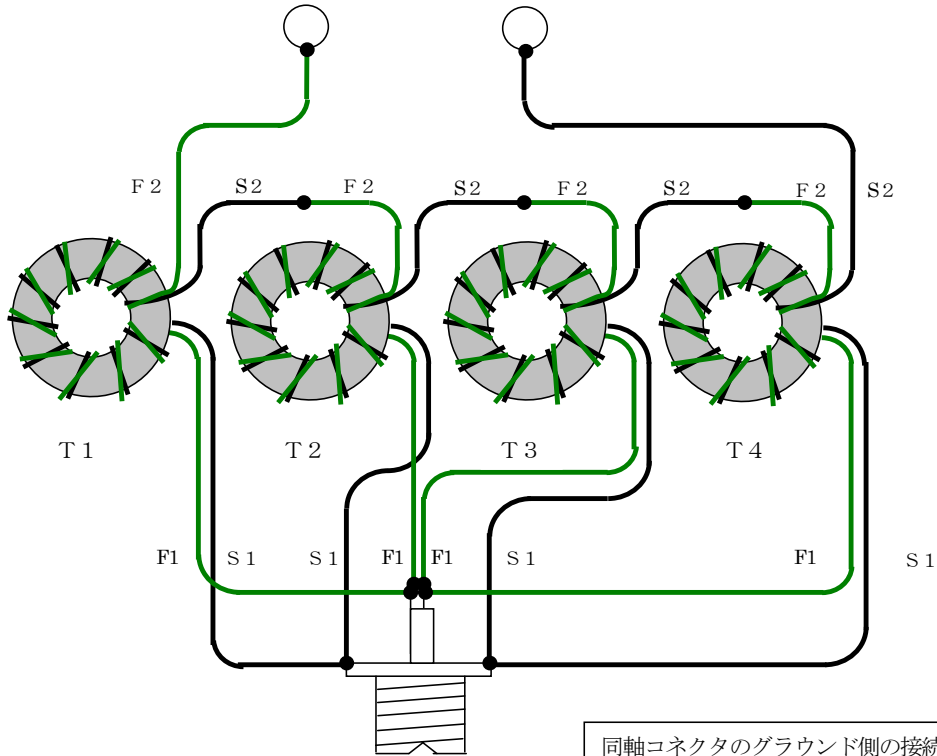


LメーターではF1-F2、S1-S2はそれぞれお
 よそ67~68μHを示します。この値はFT-114
 #43の平均的な値です。4個のトランスはほぼ近い値
 のものを組み合わせて (せいぜい10%以内の組合せ)
 構成してください。

良いバランができるかどうかはここがツボです。

バラン・全体の接続図

エレメント接続端子



同軸コネクタ

同軸コネクタのグラウンド側の接続は図では2箇所となっていますが実際には1箇所です。
● 印は接合点です。ハンダ付けを要します。

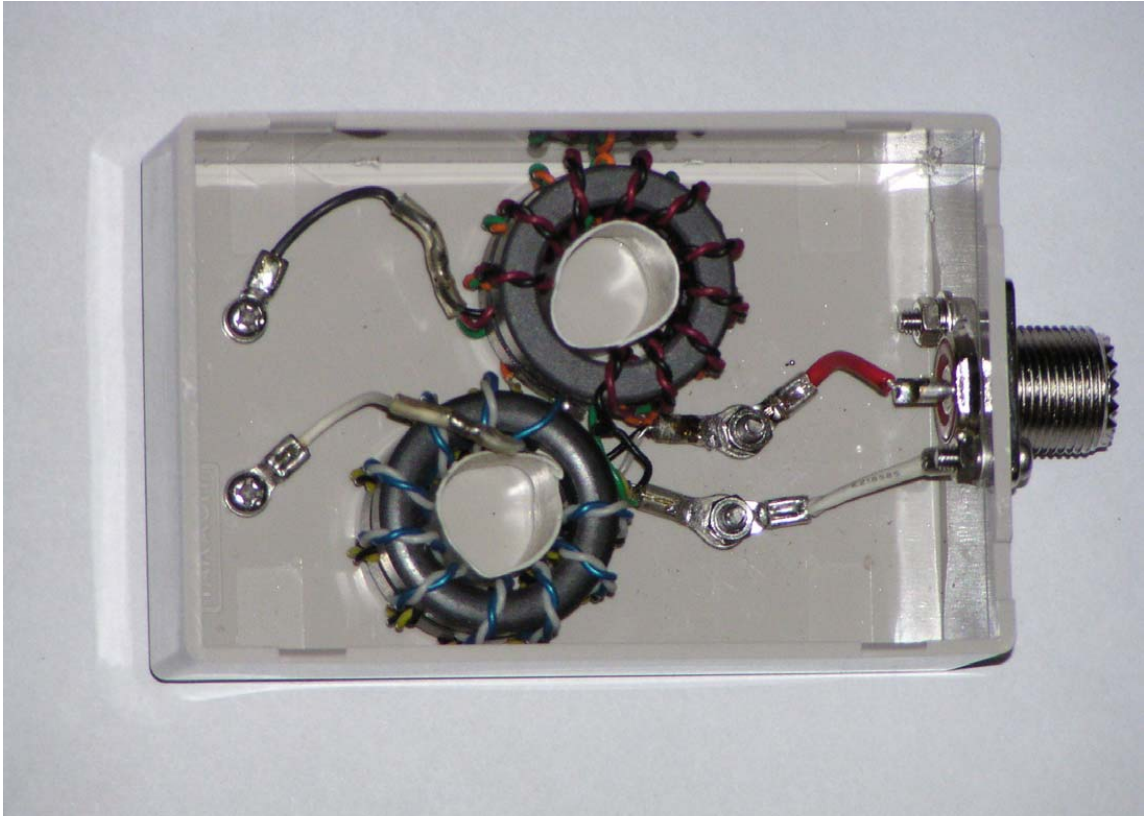
コアから各端子・接合部への線長はなるべく短くして下さい。
エレメント接続端子への配線長 (T1・F2、T4・S2) を同じ長さにする。各コア間 (S2・F2) を接続する線長はそれぞれ同じ長さで短く接続して下さい。

完成したら接続など目視チェックして下記①または②を用意し、③のチェックをして下さい。

- ① SWRアナライザと800Ωの高周波抵抗器
- ② またはSWRメーターと送信機および800Ωの高周波抵抗器です。
この場合はSWRメーターが作動する最小の出力で抵抗器はその電力に耐えられるものとして下さい。
- ③ エレメント接続端子に800Ω (または極力近い値) の高周波抵抗器を接続し、同軸コネクタにSWRアナライザまたはSWRメーターと送信機を接続し、SWRが1.0に近ければ合格です。
- ④ 大きく違う場合；結線に問題がある-----製作を見直して下さい。
断線・短絡-----製作を見直して下さい。
余り良くない ;パイファイラ線の巻き方がゆるい、コアからの結線接続が長すぎる、またはそれぞれの長さの違いが大きい、コアへの線材の巻き方に均一性がないなど-----少々のは気にならない

クリア出来たらバランは完成です。ケースに収め、エレメントを接続して試して下さい。

ケースに収めたバラ



コアが2段重ねに見えますが個々のコアをケース内でのガサツキ・ほつれをなくするためバイファイラ巻きの終わったコアを2個ずつまとめたものです。コアの内側に白く見えるチューブ状の筒はその役目を担っています。樹脂系のチューブなのですがどこから調達した物なのか覚えがありません。

バランの耐電力

コア4個を使用したこのバランは

7MHzでは100Wの運用で問題無い……080615より固定で運用中です。

「トroidal・コア活用百科」P466「第9-15図強制バランの許容入力電力」にFT114#43の特性図があり、⑤の状態が参考になると思います。これによりますと30MHz 110W、7MHz 105W、1.9MHz 100Wというところでしょうか。線材を太くできれば400Wでの使用も可能です。

バランの考察

どこかで値を見誤ってしまったようで訂正します。FT114#43のAL値は $0.603\mu\text{H}$ (1t) で10tでは $60.3\mu\text{H}$ となり、4個のコアを使用した二次側の値はおおよそ $240\mu\text{H}$ なのですがこの値は1.8MHzには対応しません。コアへの巻き数を12tとするとOKです。

「コンバット トランシーバー」の製作

50メガ、AMモードのQRPトランシーバー製作記 JK1BMK 青木 一郎
神奈川県茅ヶ崎市在住

以前ハムフェア会場内でオモチャのトランシーバー「コンバットトーク」を見つけました。手頃な大きさのうえ、「外部マイク」式が気に入り、即座に「ケースの活用」を思いつき、買って帰りました。

トランシーバー自作の際、ケース作りも楽しみの一つですが3次元的な曲面の製作はとて無理でメーカー製のデザインと形状には憧れがあります。

そこで「まずはケースありき」で、中身を入れ替えることにしました。



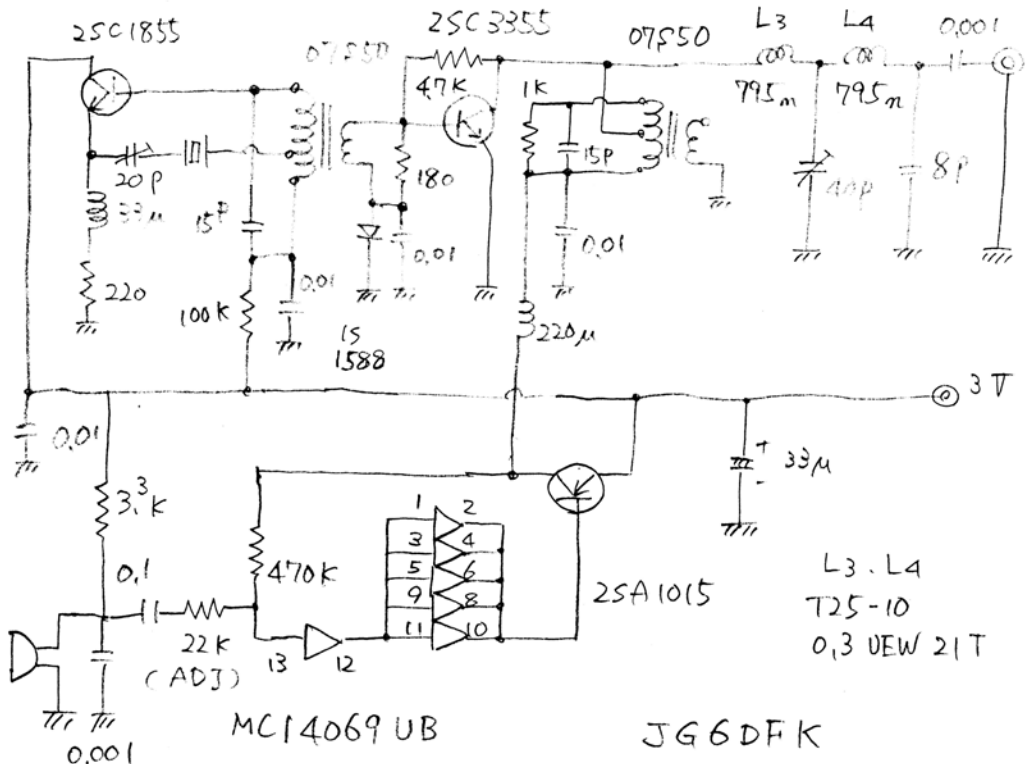
(1) 回路選定にあたっての制約

- 前面のつまみ類は2ケ（スイッチ付きボリュームと押しスイッチのみ）しか無い。
- 電池ボックスは単3が3本の4.5V。
- 表示は発光ダイオード2ケ（赤、緑）のみ。

写真1

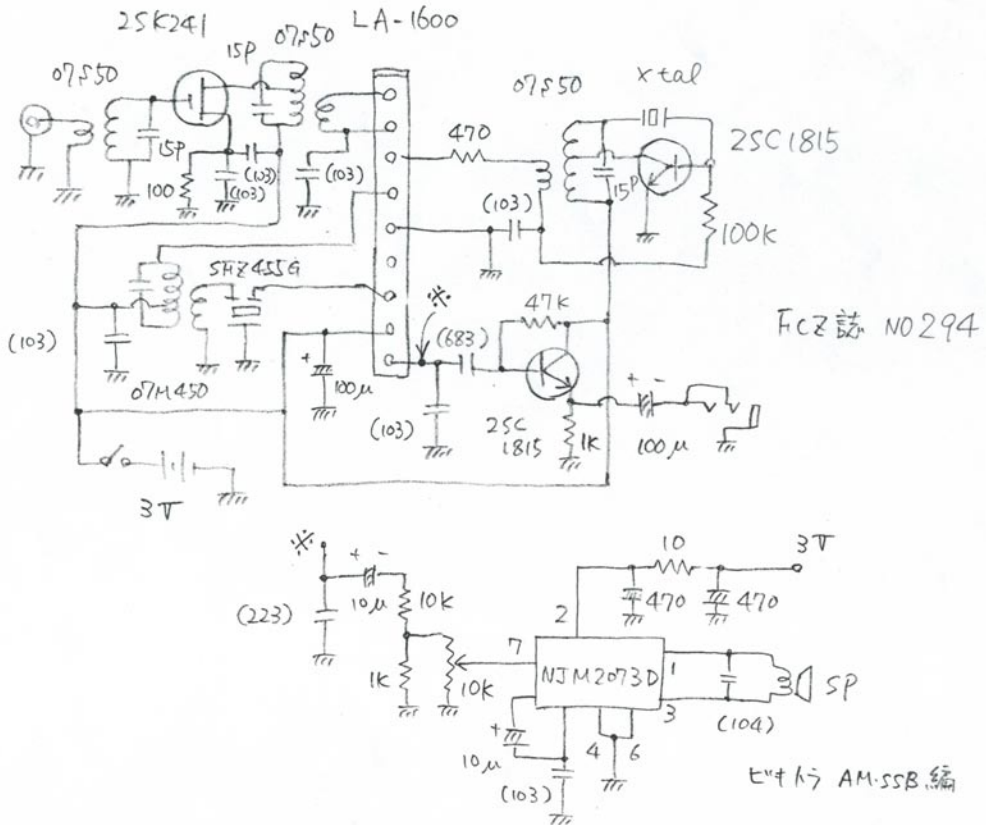
(2) 構想

- 外観は極力変化させないこと。
- 操作つまみが少なく済む周波数固定のトランシーバーとする。
- 送受信切り替えは消費電流節約のためリレーは断念し手動スイッチとする。



(3) 送信部の概要

- ・回路(別図1)は JG6DFK (児玉 OM) の回路を手本とさせていただきました。
- ・周波数は 50.55 または 50.62 の固定 (内部でのクリスタル差し替えによる)。
- ・送受信時の切り替えは本体にて操作する (ハンドマイクの PTT スイッチは使わず)
- ・外部アンテナ 用コネクタを新設した。
- ・そのため、外部アンテナと付属のロッドアンテナとの切り替えスイッチも新設した。
- ・出力は 20mW。



(4) 受信部の概要

- ・回路(別図2)は JHIFCZ (大久保 OM) の回路を手本とさせていただきました
- ・この回路にスピーカー用のアンプを増設した。
- ・周波数は 50.55 または 50.62 の固定 (内部でのクリスタル差し替えによる)。

(5) 外観を変えずに機能を変える

- ・モールス用の押しスイッチ
送信、受信用の切り替えとするため 2 回路、2 接点式のプッシュスイッチとした。
- ・ロッドアンテナ
付属のものは 120mm の「伸びない」ものであったため 6 段、530mm のものに 取り替えた。
- ・外部電源ジャック
外部入力 4.5V 用としてジャックが付いていたのでレギュレーターを組み込み、12V も可能とした。

(6) その他の変更点

・マイクジャックの新設

カールコードと本体とが一体式であったのでジャックをつけて分離可能とした。

・送信時の表示ランプ

当初から装備されていたが、送信時に赤、受信時に緑となるように変更した。

(7) つまみ類説明

・別図 3

(8) 写真説明

・外観はほとんど変化せず (写真 1)

・外寸 (写真 2)

(W150mm、H60mm、D110mm)

・各ブロックの状態 (手前から受信部、電源レギュレーター部、アンプ部 (写真 3))

(9) 消費電流 (4. 5V 時)

・送信時 35mA (20mW 出力)

・受信時：30mA

(10) あとがき

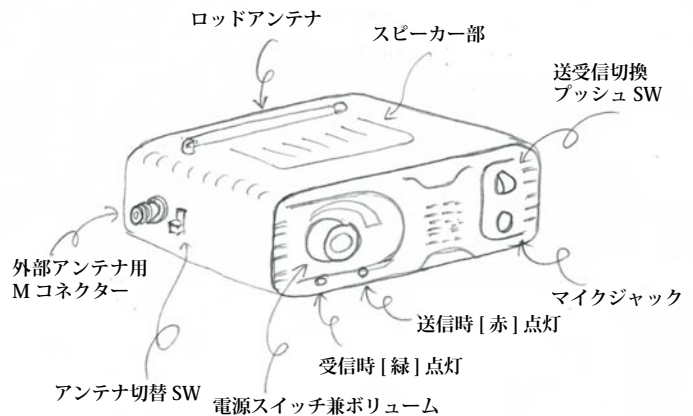
遊びどころ大盛りのトランシーバーが

出来ました。出力は少ないですが山からの連用ならば楽しめます。

外観はアーミー色で堅牢そうですが実はプラ製ですので雑に扱えません (工作は楽で良かったです)

今後とも、弱い波ではありますが是非拾っていただき、ご指導下さるようお願いいたします。

以上



別図 3



写真 2



写真 3

50MHz AM 関係の組立キットのご紹介

JP1EVD 吉原春明 E-Mail:jp1evd@jarl.com
横浜市港北区在住

50MHz AM の特色の一つに、「自作のし易さ」が挙げられますが、いきなり個々の部品を買い集めて無線機を作る、というのは難しいと思います。そこで手軽な入門の方法として、「組立キットを買ってきて作る」という方法があります。

以下に、50MHz AM の組立キットを扱っている会社のご紹介をします。

送信機、受信機、トランスバー、その他周辺機器もあります。

注:紹介した内容は、2008年5月30日現在です。生産中止、品番変更などがある場合もありますので、ご注意ください。

最新情報(価格、注文方法など)は、各社のWebなどで確認して下さい。

紹介する機器は、6mAM ロールコールグループの公認、などではありません。あくまでも「ご紹介」であることをご了承下さい。

●キャリブレーション

<http://calibration.skr.jp/>

FCZ の寺子屋キットを引き継いで販売しています。また、ミズホ通信の送信機キットや、オリジナルのキットも多数販売しています。

主な製品:

- ・50MHz AM 送信機 No.009 出力 10mW
 - ・50MHz AM ポケトラ No.067 出力 10mW
 - ・50MHz AM オールインワン送信機 No.237A 出力 300mW
 - ・50MHz AM スポット受信機 No.214
 - ・50MHz 送信機 CAL-TX50 変調機 CAL-MOD3 と組み合わせて AM 送信機に
- その他、QRP パワーメーターなどあります。

●福島無線通信機

<http://www2.ttcn.ne.jp/~fukushimamusen/index.htm>

以前から、50MHz や 430MHz のトランスバーターキットで有名です。

主な製品:

- ・50MHz AM 送信機 AM-50T 出力 1W
- ・50MHz AMQRP 送信機 QRP-AM50T 出力 50mW
- ・50MHz AM 受信機 AM-50R

その他、トランスバーター、1200MHzATV などあります。

●サーキットハウス

<http://www.ne.jp/asahi/circuit/house/index.htm>

SSB ジェネレータで有名ですが、50MHz AM のキットも販売しています。

主な製品:

- ・50MHz AM 送信機 CT-50M 出力 200mW

その他、SSB ジェネレータ、トランスバーター、エレキーなどあります。

ここに紹介した以外にも、数多くの組立キットがあります。

ぜひ皆さんも一度は自作の無線機で QSO を楽しんで見て下さい。

第19回 2エリア主催 AM コンテスト結果表

(2008 - 7 - 27 開催) - 暫定版 -

6m AM 愛好会事務局 JA2AZZ

位	運用局	運用地	総得点	局数	JCC JCG	QSO ｺﾝﾄ	運用ﾊﾞﾝﾄﾞ	備考
1	J F 6 L I U / 1	横、港北区	6,480	27	20	1,2,8	28,50, 144,430	総合1位
2	J N 1 A E Q / 1	埼玉、日高市	2,552	29	22	1,8	50,144	
3	J F 2 Q K A / 2	愛、春日井市	1,575	25	21	2,8,9	50	2 ｺﾝﾄ 1 位
4	J K 8 F G X	北、旭川市	1,404	18	13	1,2,3,4,5,8	50	8 ｺﾝﾄ 1 位
5	J H 2 I N Q / 2	愛、豊田市	1,296	12	9	2,5,9	28,50, 144,430	
5	J F 2 U J G / 2	愛、豊田市	1,296	12	9	2,5,9	28,50, 144,430	
7	J R 8 D A G / QRP	札、北区	1,176	14	14	1,2,3,5,8,9	50	
8	J H 2 I Z F / 8	北、白老郡	1,050	15	14	1,2,3,5,9	50	
9	J F 2 S D R / 2	愛、豊田市	864	18	16	2,8,9	50	
10	J H 5 U P I / 5	徳、三好市	840	14	14	2,3,4,5,8	50	5 ｺﾝﾄ 1 位
11	J A 2 A Z Z / 2	愛、小牧市	476	17	14	2,8	50	
12	J O 1 S I M	都、三鷹市	336	7	6	1,8	28,50, 144,430	
13	J E 9 M B V / 9	福、小浜市	192	8	6	2,3,8,9	50	9 ｺﾝﾄ 1 位
14	J M 2 C A N	愛、豊田市	160	10	8	2,8	50	
15	J O 3 A M B	大、高石市	72	6	6	3,8	50	3 ｺﾝﾄ 1 位
16	J A 1 C C X / 1	都、町田市	63	9	7	1	50	
17	J R 1 C K U	神、相模原市	40	5	4	1,8	50	
18	J N 4 P M O / 4	岡、浅口市	32	4	4	5,8	50	4 ｺﾝﾄ 1 位
18	J F 2 A Z M	岐、美濃加茂市	32	4	4	2,8	50	
20	J A 1 T A Z / 1	群、前橋市	30	6	5	1	50	
21	J F 2 N M Y / 2	愛、岡崎市	28	7	4	2	50	
21	J A 0 E Y F / 2	岐、揖斐郡	28	7	4	2	50	
23	J E 1 M P R	川、多摩区	24	4	2	1	50,144, 430	
24	J A 2 A E P	愛、半田市	18	6	3	2	50	
24	7N1PFW/1	茨、取手市	18	3	3	1	50,144	
26	J A 1 X P U	都、練馬区	12	4	3	1	50	
27	J A 1 W S E / 1	都、西多摩郡	9	3	3	1	50	
27	J A 4 A M V / 1	埼玉、北本市	9	3	3	1	50	
27	J A 9 X A T / 3	京、長岡京市	9	3	3	8	50	
30	J K 1 S D Q	都、国分寺市	4	2	2	1	50	
30	J K 2 J J H	愛、東海市	4	2	2	2	50	
32	J A 3 Q X N	神、北区	1	1	1	5	50	
32	J K 1 X U L	埼玉、戸田市	1	1	1	1	50	
32	J I 2 G V L	岐、可児市	1	1	1	2	50	
	J R 3 S Z Z / 3	神戸市灘区	1	1	1	7	28	(チェックログ)

いつになく暑い日が早々とやってきて、2エリアでは35℃を超える酷暑が続いたりして、当日も大変暑く移動運用にはきびしい状態でした。それにもかかわらず多くの局の参加がありました。J D 1、6、沖縄エリアからの参加局は無かったものの、まずまずのAMモードのにぎわいを感じました。E - スポも発生し、各エリア間のQ S O が結構楽しめたと思いますが、いかがだったでしょうか。それにしても8エリアでは18℃と聞き、うらやましく思いましたね。

第 20 回 2 エリア主催 AM コンテスト

主催 6m AM 愛好会

日時 2009 年 7 月 26 日 (日) 10:00~16:00

参加資格 日本国内のアマチュア局 個人局および社団局 (シングルオペに限る)

周波数・電波形式 50.400 ~ 50.900 MHz

28.600 ~ 28.850 MHz

144.300 ~ 144.500 MHz

430.400 ~ 430.800 MHz の 4 バンド AM (搬送波のある A3E と H3E)

28/144/430 MHz 帯では他のモードで運用される局との混信には十分な配慮を持って運用願います。バンド毎の運用時間は決めていません伝搬状態を把握して運用してください

呼出方法 " CQ AM コンテスト "

コンテストナンバー RS + 自局 (運用地) の JCC または JCG ナンバー

得点 異なる局との交信 1 局につき 1 点

マルチ (1) 交信した異なる JCC または JCG ナンバー

(2) 交信した異なる国内コールエリアの数 (ただし 0~9 および JD1 沖縄県を別途コールエリアとして加え 12 とする)

(3) 交信したバンドの数

マルチプレイヤーはバンド毎カウント出来ません。

交信全バンドで重複の無いようカウントして下さい。

総得点 得点の和 x マルチ (1) x マルチ (2) x マルチ (3)

賞 全国 10 位までおよび各エリアの 1 位までとし、全国と各エリアで重複する場合は併記する。盾は全国 1 位のみとし、他に副賞は原則的に無しとします。参加者全員に参加証を発行する

書類提出 8 月 11 日 郵送は消印有効 極力 E-mail にてお願いします。

郵送書式; JARL 様式 または下記 E-mail 様式

URL <http://www.6mam.com> より、資料/コンテスト/2 エリア主催 AM コンテストからサマリー・ログシートをダウンロードしてお使い下さるか、または Excel 形式で添付してください。

提出先 E-mail; contest@6mam.com 件名に「AM コンテスト」と記入の事。

〒481-0001 愛知県北名古屋市六ツ師松葉 62-1 6mAM 愛好会事務局
杉山 隆司 宛

問合せ 事務局または E-mail; ja2azz@jarl.com

発表 ハムフェア会場 6m AM ロールコールグループブースにておよび当 URL 他

個人宛結果送付 (E-mail SASE の方) は 9 月 15 日までに発送の予定

6mAMマラソンコンテスト

- 目 的： 6mAMのアクティビティー向上
- 主 催： 6mAM愛好会
- 日 時： 1年を1月～6月と7月～12月に分け年2回開催
- 参加資格： 国内の個人アマチュア局
- 周波数： 50.400MHz～50.900MHz
- モ ー ド： AM（搬送波のあるA3EとH3E）
- 部 門： なし（但し表彰はエリア別とします）
- 呼び出し： 特に定めません
- コンテストナンバー： RSレポート交換の通常のQSO
- 得 点： 異なる局との完全な交信をもって1点とする
- マ ル チ： 交信日数
- 総 得 点： 得点×マルチ
- 注意事項1： 同一局との交信は1回のみ得点として計上できる。
マルチには何回でも計上できる。
- 注意事項2： 同一エリア内の移動に限り得点計上できる。
マルチは他エリアの移動でも計上できる。
- 注意事項3： 他のコンテスト・RC（キー局の方はご遠慮下さい）での交信も有効です。
- 注意事項4： 必ず6mAMの免許を受けている事を確認してから参加して下さい。
- 注意事項5： その他はJARLコンテスト規約に準ずる
- 表 彰： エリア別に上位3位まで表彰する（但し10局未満のエリアは1位のみ）。
その他QRP賞などを予定。
- 提出書類： できるだけ電子メールでお願いします。
サマリーシートはJARL様式に準じて下さい。
ログシートは必ずExcel形式またはExcelで読み込めるテキスト形式でお願いします。（カンマやタブ等で区切られた）
詳細はURL <http://www.jarl.com/6mam/marathoncontest.html> を参照
- ※ 紙ログの場合はJARL様式（自作の場合はA4サイズに限る）で必ず左上のみをホチキスで止める事。
- 提出先： E-mail；contest@6mam.com 件名に「マラソンコンテスト」と記入の事
郵送 〒481-0001 愛知県北名古屋市六ツ師松葉62-1
6mAM愛好会事務局 杉山 隆司 宛
- 締 切： 終了翌月（7月・1月）未必着（メール・郵送）
- 発 表： 締切後1ヶ月以内に6mAM愛好会HP等で発表。
参加者にもメールします（郵送希望者はSASE同封の事）。
- そ の 他： このコンテストに関する質問・御意見がありましたら提出先までお願いします

全国 6mAM ロールコールのお知らせ

全国の AM ファンの皆様 2 年連続で悪天候に阻まれ山頂での運用が出来ませんでした。今年も参加者がおりませんので「全国 6mAM ロールコール」は中止いたします。

もしこれから実行希望の方が居られましたら下記の日程なら JA1EEZ が同行可能です。

運用場所：富士山山頂又は関東周辺の山

実施日：① 2008 年 9 月 13 日 ② 2008 年 9 月 20 日 ③ 2008 年 10 月 11 日

時間：打ち合わせによる

周波数：50.6 MHz 付近

なお情報は下記の BBS で公表いたします。

<http://www.6mam.com>

実施希望の方は右記へご連絡ください ja1eez@jarl.com

*** 6mAM ロールコールグループへの運営資金の寄付お礼とお願い ***

昨年のハムフェアの時に配布したパンフレットで、運営資金の寄付をお願いしたところ、数名の方から寄付を頂きました。大変ありがとうございました。お陰様で本年も無事に出展を行うことができました。勝手なお願いではございますが、本年も引き続き以下の趣旨にて寄付をお願いしております。

6mAM ロールコールグループでは、できるだけ少ない経費で活動を PR したいと考え、純粋展示によるブース出展を行っており、本ブースの PR に大きな役割を果たしている当パンフレットも無償で配布しております。しかしながら、出展経費が減免されている純粋展示であっても、ブース運営には出展費用やパンフレット作成などに数万円の経費が必要となっています。

ここで、誠に勝手なお願いではありますが、本パンフレットをお読みにになり、当グループの活動にご賛同頂ける方に、ご寄付をお願いし、今後の運営資金にしたいと考えております。ただ、純粋展示ブースにおいて、ハムフェア会場内で寄付を受けることは販売と見なされる可能性があるため、郵便振替による寄付をお願いすることとしました。

なお、寄付は、少額で構いませんし、寄付の有無でロールコールにおける扱いに差をつけることはありません。その点、あわせてお知らせします。

また、ご寄付の際には、電子メールアドレスをご記入いただきたく、あわせてお願いいたします。

寄付をお願いする郵便振替口座の番号と名義人は下記の通りです。

口座番号：00160-9-550537

口座名称：6mAM ロールコールグループ

なお、この件に関して、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、会計担当の JK1ONN (jk1onn@jarl.com) までおたずねください。

「AM ロールコールグループ」キー局（ネット局）募集

「6mAM ロールコール」は AM のアクティビティの向上を目指す各地区の有志の手によって運営されています。皆それぞれ勤めの合間を縫って時間を作ってキー局（ネット局）を勤めています。しかし仕事の都合、家庭の事情等で必ず毎回運営出来るとは限らない事情が続いています。そこで各地の「6mAM ロールコール」のグループではキー局（ネット局）を勤めてくださるかたを随時募集しています。毎月でなくてもかまいません年 1 回でも 2 回でも良いのでご協力いただけるかたがおられましたらロールコールのキー局（ネット局）か下記の各地の担当者へご連絡いただけると幸いです。

[1 エリア] JP1EVD E メール jp1evd@jarl.com

[2 エリア] JA2AZZ E メール ja2azz@jarl.com

[3 エリア] JA3XQO E メール ja3xqo@6m.net

[9 エリア] JA9SWR E メール ja9swr@jarl.com

[0 エリア] JG0GJG <http://6mhfamcwfmc2web.com/amrc/index3.html>

ハムフェアのパンフレット原稿募集

来年も「6mAM ロールコールグループ」のパンフレットの原稿を募集いたします。
内容：

- (1) 各地のロールコールの紹介
- (2) ロールコールの運用状況の紹介
- (3) 各地の AM アクティブ局の紹介
- (4) アンテナ、無線機などの製作記事
- (5) 移動運用の報告
- (6) 設備や無線機の紹介
- (7) その他 e t c .

以上の様になんでも結構です、原稿と写真をお送りください。

原稿はテキストファイル、ワープロソフトのファイル、なんでも結構です。

配線図などは描画に使用したソフトもご連絡ください。

写真はできるだけ解像度の高いものでお願いいたします。

原稿の細目についてはは原稿送り先にお問い合わせください。

原稿納期：2009 年 6 月末

原稿の送り先 tatu1eez@fa.mbn.or.jp

お願い：最近不要メールが大変多いので原稿を送っていただく際は [件名] に「原稿」の文字を入れて必ず上記アドレスにお送りください。

編集後記

今年も沢山の投稿をいただきありがとうございました。力作が多く編集に苦勞いたしました、一部の方の原稿は申し訳ありませんが若干削らせていただきました。それでも昨年よりページ数が 4 ページ増えました。コンディションの上昇で全国の AM の電波が聞こえるようになりました。私の所では地上高が高いせいか近距離の局はあまり QSO が出来ませんが、今年は韓国、香港、台湾、フィリッピン等と AM の QSO が出来ました。11 エレ× 2 を振り回しています、各地の AM ファンの皆さん QSO よろしく願いいたします。 de JA1EEZ



2エリア 6m AM グランドミーティング (11月)、今年も会いましょう